

令和2年度 業務実績報告書

令和3年6月



地方独立行政法人
岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員状況 令和2年4月1日現在

	氏名	役職
理事長	近藤 泰三	院長
副理事長	後藤 賢也	副院長兼事務局長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科統括部長
理事	梶川 真樹	副院長兼外科統括部長
理事	日比野 剛	副院長兼内科統括部長
理事	東 智美	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ株式会社代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

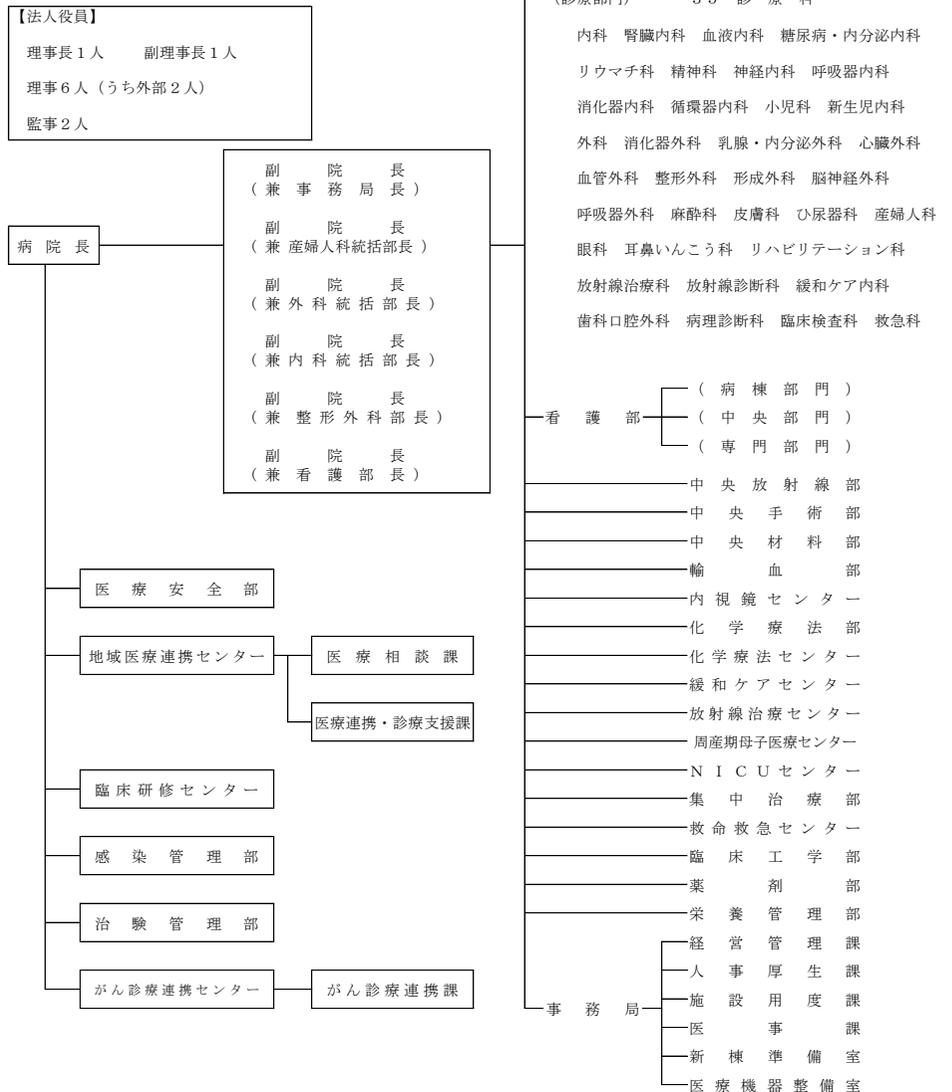
(5) 職員数(令和2年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	159	3	162
看護師	533	188	721
コメディカル	201	18	219
事務等	69	116	185
合計	962	325	1,287

(6) 組織図

令和2年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、東濃圏域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、高精度放射線治療装置の充実による先進的かつ効果的な治療の実施、院内保育施設の移転新築による職員の就労環境の整備、経常収支比率100%以上を達成するなど着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を、平成30年6月に基本設計、令和元年8月に実施設計を策定した。今後は、建設工事に着手し、令和6年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 5.0)の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 6.0)の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
〃	11月	病床数を575床へ変更（一般病床52床廃止）
平成29年	3月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:ver1.1)の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設
令和2年	4月	病床数を570床へ変更（一般病床1床・精神科病床4床廃止）

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア / レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	570床（一般509床：結核13床：精神42床：感染症6床）
年間延べ患者数 (令和2年度)	入院 : 148,961人 外来 : 246,868人

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、医療需要などの将来予測を踏まえながら診療事業を推進した。

より質の高い医療の提供のために、新中央診療棟の整備、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、ICT（情報通信技術）の活用、入退院支援の充実、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上については、施設改修や患者給食の向上による院内環境の整備や、相談員のスキルアップによる相談体制の充実、患者待ち時間の改善に向けた新たな取組を実施するとともに、患者や周辺住民からの病院運営に関する意見を反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、医療をめぐる状況と病院の方向性等についての意見交換をした。

診療体制の充実については、地域医療連携センターが中心となって開業医、連携病院への積極的な訪問活動を実施した。また、連携推進協議会等の開催を通じて、地域の医療機関と情報交換を行い、医療ニーズの把握に努めた。10月には、地域の医療需要に対応し、児童精神科外来を開設した。

地域医療支援病院として、訪問活動を通じて近隣医療機関との役割分担の明確化と連携強化を図ったことにより、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率74.3%、逆紹介率98.6%）

重点的に取り組む医療として、がん医療においては、引き続き高精度放射線治療装置の2台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高い放射線治療を提供した。また、救急医療、産期医療、精神科医療、感染症医療など、新型コロナウイルス感染拡大の中にあつて、県民が必要とする医療を提供するため、最大限の感染拡大防止に努めながら積極的に取り組んだ。

1-2 調査研究事業

臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に取り組んだ。

診療に関する情報は、分析・集計、一元的に管理し、必要な情報が適時に提供できる体制により、集計結果等は一元管理し、経営改善への指標となる数値は、職員へ随時情報提供できる仕組みを構築している。

「QI事業」には引き続き参加し、DPCデータなどとともに、診療報酬委員会での分析等に活用した。

1-3 教育研修事業

内科領域、外科領域及び精神科領域においては、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で6名、外科領域で1名、精神科領域で1名を採用した。

医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

県立多治見看護専門学校に対しては、当院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。

1-4 地域支援事業

開業医への訪問活動を通じて、高度医療機器や開放型病床の共同利用の促進を図るとともに、国民健康保険上矢作病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。

地域医療機関や地域住民に対しては、新型コロナウイルス感染拡大のため限られた回数となったが、病院が保有する保健医療情報を提供するため、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。

新型コロナウイルス感染拡大に際しては、地域の他施設、開業医へ情報共有やゾーニング等の感染対策の支援を実施するとともに、東濃地域の新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養施設、大阪での感染拡大時には大阪コロナ重症センターへ看護師を派遣し、地域医療を支援した。

1-5 災害等発生時における医療救護

災害医療実働訓練を図上訓練として実施し、被災時における病院機能維持のための体制の確立に努めた。また、新中央診療棟の建設においては、水害時に備え、地上に設置予定のガスコジェネレーションシステムを屋上階に設置するよう設計見直しを行った。

診療情報のバックアップシステムについては、SS-MIXの情報が閲覧できる専用端末を各病棟に設置した。

新型コロナウイルス感染拡大に際しては、対応チームを結成し、対応マニュアル作成や必要な物資、資材の備蓄等を実施した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

地域の医療需要に対応するため児童精神科外来を開設した。また、事務部門では、新中央診療棟整備に伴う医療機器の整備等を円滑に実施するために医療機器整備室を設置するとともに医療機器整備調整監を配置した。

診療部門において、医師事務作業補助者、看護助手、介護福祉士の採用を進め、効果的な医療の提供に努めた。

ICT（情報通信技術）の活用においては、AI画像診断、AI問診システムの導入に向けた検討を行った。AI画像診断の導入については、経費面や電子カルテシステム等との連携に課題があり、引き続き検討していくこととした。ICT（情報通信技術）の活用とともに、情報セキュリティへの対応も重要であり、情報漏洩対策として、Eメールの誤送信対策システムの導入や、注意喚起の通知発出などを行い情報セキュリティの意識向上を図った。

収支の改善に向けては、診療科別原価計算分析を実施し、分析により得た改善点等を診療科へ提供するための検討を進めた。また、「新中央診療棟第一期工事」が政府調達の対象案件として適正な競争入札が実施できるよう参加要件等の検討を進めた。さらに、医療コンサルタントやベンチマークを引き続き活用し、医薬品、診療材料の契約の妥当性を検証し、調達の効率化と適正な契約事務の実施に努めた。

収入の確保においては、積極的な開業医への訪問活動による紹介患者獲得に努めるとともに、未収金の発生防止対策と効果的な回収を進めることにより収入の確保を図った。

費用においては、契約事務の適正化と同様に医療コンサルタントやベンチマークを活用することによる効果的な価格交渉と、バーコード読み取りシステムにより在庫管理の徹底を図ることにより、費用の節減に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 入院診療単価及び外来診療単価が昨年度比で増となったが、新規入院患者数と外来患者数がともに減となり、昨年度と比べ医療収益において4.4%の減。収益全体では、補助金等収益の増により3.5%（6.7億円）の増となった。計画に比べ医療収益において7.9%の減、収益全体で1.2%（2.4億円）の減となった。

[費用] 給与費の増により、昨年度と比べ医療費用で1.2%の増。費用全体では、昨年度とほぼ同額となった（これは、新型コロナウイルス感染対策に伴う経費が増加した一方で、昨年度計上したアスベスト除去に係る特別損失（3.2億円）とほぼ同額であったことによる）。計画に比べ医療費用において2.1%の減、費用全体では0.9%（1.8億円）の減となった。

この結果、単年度収支は5億6千万円の赤字となり、経常収支比率も97.1%で、昨年に引き続き目標である100%以上を達成することができなかった。職員給与費対医療収益比率は、目標50%以下に対して、58.0%となった。業務の効率化や医療収益の更なる増収を目指していくことが必要である。

経常収支比率	=	(営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100
営業収益		19,522,600千円
営業外収益		84,044千円
営業費用		19,227,408千円
営業外費用		967,728千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、職員相談支援室で職員からの相談に対応するとともに、一人ひとりの時間外勤務の状況を把握し、長時間労働該当者、年休取得5日未満該当者の所属長に対しては注意喚起を行った。また、サーマルカメラを利用した顔認証による入退室管理システムを導入し、時間外勤務対策として、同システムで職員の勤怠管理を行う方法について検討した。

福利厚生では、新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当、ワクチン接種にかかる特別休暇を新設した。モチベーションアップのための意見募集を行い、意見を院内に紹介するなどモチベーション向上に努めた。

職員の健康管理については、前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップもを行い、健康管理対策の充実に努めた。

新中央診療棟整備については、新型コロナウイルス感染拡大による経営状況等への影響を見極めるため、第一期工事発注を一時延期とし、設計の一部見直しを実施した。

診療棟整備に伴う立体駐車場2棟のうち1棟については、8月に完成し、供用を開始した。翌9月からは、残る1棟の建設工事に着手した。

医療機器の整備については、新中央診療棟整備も踏まえ、過剰なものとならないよう、現場を熟知する臨床工学部と連携し、整備の必要性・妥当性を検証しながら整備を進める一方、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図っている。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	III	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	III	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	IV	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	IV	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	III	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	IV	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	IV	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	IV	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	17	IV	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	III	
2-1-3 人事評価システムの運用	19	III	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	III	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	21	III	
2-1-6 適切な情報管理	22	III	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	III	
2-2-2 収入の確保	24	III	
2-2-3 費用の削減	25	III	
3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画	26	II	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	III	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	IV	
8-4 内部統制の充実強化	30	III	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	III	
8-6 年度計画における主な計画数値	32	II	
8-7 積立金の使途	33	III	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指 標	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
経常収益 (千円)	17,362,726	18,175,978	18,824,930	19,022,733	19,606,644
経常費用 (千円)	17,240,666	17,821,770	18,788,919	19,921,438	20,195,136
経常利益 (千円)	122,060	354,208	36,011	△898,705	△588,492
従事人員数 (人)	1,095	1,108	1,166	1,242	1,287

V 項目別の状況

主な指標 (3 予算 (人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	
								経常収支比率
医業収支比率	100%を超過	96.7%	100.7%	102.3%	99.8%	96.7%	91.3%	
職員給与費対医業収支比率	50%未満	54.4%	51.7%	51.0%	52.5%	54.4%	58.0%	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、チーム医療に貢献できる専門性を持った医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用を努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
------	--

※ 診療体制の充実
医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。

※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携
医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。
近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。
また、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。
さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。

※ 重点的に取り組む医療
高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。
特に、「救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。
救急医療については、地域の医療機関等との連携の推進や新中央診療棟の整備に伴う高度な医療の提供等により、東濃圏域の中核病院として重症救急患者への対応を強化すること。
がん医療については、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる治療に加え、患者の就労も含めた相談支援の充実を図るなど、拠点病院としての機能を強化すること。また、地域の医療機関等との連携の強化や、緩和ケアを提供できる人材の育成・確保等により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。
また、新中央診療棟整備に併せて、レスパイトケア（障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス）のための短期入所機能の整備をすること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																										
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>4 特定行為看護師、専門看護師等の資格取得の促進</p>	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟の開院に向けた医療機器の整備について、各部門における医療機器の配備状況及び要望に基づいて整備計画を策定しており、各部門へヒアリングを実施し、導入時期、導入手法等も含めたより具体的な計画に適時更新を行った。 令和2年度は、高度医療機器のうち特に老朽化が激しく診療に支障をきたす医療機器を中心に整備を行った。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汎用血管用エックス線撮影装置</td> <td>機器老朽化による更新。血管造影撮影により、診断および治療を行う。</td> </tr> <tr> <td>デジタルガンマカメラシステム</td> <td>機器老朽化による更新。放射性医薬品を用いた画像診断装置で機能・形態画像を診断に提供する。</td> </tr> <tr> <td>X線CT撮影装置</td> <td>診療機能充実のため増設。CT画像を診断に提供する。</td> </tr> <tr> <td>ラボリモートユ</td> <td>機器老朽化による更新。不整脈の診</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	整備目的・用途	汎用血管用エックス線撮影装置	機器老朽化による更新。血管造影撮影により、診断および治療を行う。	デジタルガンマカメラシステム	機器老朽化による更新。放射性医薬品を用いた画像診断装置で機能・形態画像を診断に提供する。	X線CT撮影装置	診療機能充実のため増設。CT画像を診断に提供する。	ラボリモートユ	機器老朽化による更新。不整脈の診	<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識のある職員を養成するため、学会、研修会等への参加や各種認定資格の取得、維持のため支援を行った。 <p>【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目 職種</th> <th colspan="5">資格取得・認定件数(件)</th> <th colspan="5">学会研修会等 延べ参加者数(人)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薬剤師</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">6</td> <td>参加</td> <td>47</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線技師</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">3</td> <td>参加</td> <td>398</td> <td>312</td> <td>314</td> <td>251</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>33</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床検査技師</td> <td rowspan="2">15</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">2</td> <td>参加</td> <td>26</td> <td>33</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床工学技士</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">4</td> <td>参加</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリ技士</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">19</td> <td rowspan="2">20</td> <td>参加</td> <td>38</td> <td>12</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目 職種	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等 延べ参加者数(人)					H28	H29	H30	R1	R2	区分	H28	H29	H30	R1	R2	薬剤師	1	1	3	8	6	参加	47	64	64	70	42	発表	9	8	9	5	2	放射線技師	2	7	6	6	3	参加	398	312	314	251	213	発表	33	25	20	19	5	臨床検査技師	15	9	9	7	2	参加	26	33	42	38	9	発表	2	2	2	4	0	臨床工学技士	1	4	1	3	4	参加	22	26	25	16	6	発表	6	7	3	1	0	リハビリ技士	4	2	3	19	20	参加	38	12	60	90	19	発表	1	4	4	8	0	IV	高度医療機器の整備や医療従事者の確保と養成、特に認定看護師の養成において成果があり、加えて新型コロナウイルス院内感染対策の実績を評価
機器名	整備目的・用途																																																																																																																														
汎用血管用エックス線撮影装置	機器老朽化による更新。血管造影撮影により、診断および治療を行う。																																																																																																																														
デジタルガンマカメラシステム	機器老朽化による更新。放射性医薬品を用いた画像診断装置で機能・形態画像を診断に提供する。																																																																																																																														
X線CT撮影装置	診療機能充実のため増設。CT画像を診断に提供する。																																																																																																																														
ラボリモートユ	機器老朽化による更新。不整脈の診																																																																																																																														
項目 職種	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等 延べ参加者数(人)																																																																																																																									
	H28	H29	H30	R1	R2	区分	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																				
薬剤師	1	1	3	8	6	参加	47	64	64	70	42																																																																																																																				
						発表	9	8	9	5	2																																																																																																																				
放射線技師	2	7	6	6	3	参加	398	312	314	251	213																																																																																																																				
						発表	33	25	20	19	5																																																																																																																				
臨床検査技師	15	9	9	7	2	参加	26	33	42	38	9																																																																																																																				
						発表	2	2	2	4	0																																																																																																																				
臨床工学技士	1	4	1	3	4	参加	22	26	25	16	6																																																																																																																				
						発表	6	7	3	1	0																																																																																																																				
リハビリ技士	4	2	3	19	20	参加	38	12	60	90	19																																																																																																																				
						発表	1	4	4	8	0																																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																		
5	コメディカルに対する専門研修の実施	<table border="1"> <tr> <td>ニット</td> <td>断・治療に使用する。</td> </tr> </table>	ニット	断・治療に使用する。	<table border="1"> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>参加発表</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>45</td> <td>35</td> <td>参加発表</td> <td>540</td> <td>451</td> <td>515</td> <td>477</td> <td>290</td> </tr> </table>	管理栄養士	0	2	2	2	0	参加発表	9	4	10	12	1	合計	23	25	24	45	35	参加発表	540	451	515	477	290																																																										
ニット	断・治療に使用する。																																																																																						
管理栄養士	0	2	2	2	0	参加発表	9	4	10	12	1																																																																												
合計	23	25	24	45	35	参加発表	540	451	515	477	290																																																																												
6	専門性を発揮したチーム医療の推進	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学医局との連携や代務医の招聘、医師の幹旋会社の活用により、必要な医師の確保に努めた。看護師とその他のコメディカルについては、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、地元紙・地域情報誌への求人広告掲載、ホームページでの募集活動、インターネットの求人サイトの活用、就職準備資金等の支援制度により、医療従事者の充実を行った。 研修医について、非常勤から常勤へ勤務形態を切り替えることにより、待遇を改善し、医師の確保を図った。 初期研修医のマッチングについては、医師 12 人、歯科医師 1 人の募集枠をフルマッチングすることができた他、医療事務作業補助者、看護助手、介護福祉士などの採用を図り、医師や看護師の業務負担の軽減を推進した。 	<p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアチームに専任の看護師（がん性疼痛看護認定看護師）を配置し、一般病棟へチームラウンドなどの活動を推進した。 新型コロナウイルス感染症対策ならびにワクチン接種では、ICT（Infection Control Team：感染防止対策チーム）を中心とした多職種連携により一般診療業務に支障をきたすことなく、また、院内クラスターを発生させることなく運営した。 造影剤注入用の静脈路確保を担える看護師を育成し、中央放射線部に配置することで、タスクシフティングを行い、造影CT検査に伴う医師の負担軽減を進めた。 看護補助者を3名増員し、配置病棟を増やした。 クリニカルパス推進委員会から各診療科に対し、パス登録の働きかけを行った。 																																																																																				
7	ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用																																																																																						
8	入院支援の充実																																																																																						
9	医療事故防止等医療安全対策の充実																																																																																						
10	院内感染防止対策の充実	<p>【医療従事者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>118</td> <td>123</td> <td>126</td> <td>136</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>474</td> <td>472</td> <td>484</td> <td>476</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>154</td> <td>167</td> <td>173</td> <td>185</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。（計 20 回実施） 研修医の資質向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会に上級医 2 名が参加し、臨床研修指導医の確保に努めた。（12 月開催） 内科・外科・精神科領域の専攻医研修プログラムの基幹施設として、内科 5 名、外科 2 名、精神科 1 名を当院プログラムにて採用した。また、その他の診療科においても名古屋大学医学部附属病院が基幹施設となる専門研修プログラムの連携施設として、初期研修医が当院に在籍したまま後期研修が実施できる体制を整え、2 名の専攻医が在籍となった。 内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を実施した。（7 月、1 月開催） 	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医師	118	123	126	136	151	看護師・助産師	474	472	484	476	490	コメディカル	154	167	173	185	199	<p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>17</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>43</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>27</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>102</td> <td>137</td> <td>121</td> <td>68</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>239</td> <td>230</td> <td>223</td> <td>128</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42.8%</td> <td>46.8%</td> <td>47.5%</td> <td>46.6%</td> <td>45.3%</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名\年度	H28	H29	H30	R1	R2	産婦人科	30	28	28	17	19	整形外科	43	14	15	12	12	呼吸器科	23	23	23	2	4	外科・消化器外科	27	15	22	12	11	循環器科	14	13	14	17	22	その他	102	137	121	68	74	合計	239	230	223	128	142	H28	H29	H30	R1	R2	42.8%	46.8%	47.5%	46.6%	45.3%		
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																		
医師	118	123	126	136	151																																																																																		
看護師・助産師	474	472	484	476	490																																																																																		
コメディカル	154	167	173	185	199																																																																																		
診療科名\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																		
産婦人科	30	28	28	17	19																																																																																		
整形外科	43	14	15	12	12																																																																																		
呼吸器科	23	23	23	2	4																																																																																		
外科・消化器外科	27	15	22	12	11																																																																																		
循環器科	14	13	14	17	22																																																																																		
その他	102	137	121	68	74																																																																																		
合計	239	230	223	128	142																																																																																		
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																			
42.8%	46.8%	47.5%	46.6%	45.3%																																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																			
		<p>4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門性の高い看護師を養成するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、必要な研修への参加を支援した。 特定行為区分研修は看護師4名が参加し、特定行為研修を含む研修には、「慢性心不全看護認定看護師」「放射線看護認定看護師」へ各1名が参加している。 「糖尿病看護認定看護師」と「がん化学療法認定看護師」各1名、並びに「がん専門看護師」1名が認定試験に合格し認定・専門資格を取得した。 <p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>手術看護</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>透析看護</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん看護</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	分野	H28	H29	H30	R1	R2	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	3	3	3	集中ケア	2	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	1	1	2	2	3	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1	感染管理	3	3	2	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1	救急看護	1	1	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1	糖尿病看護	1	1	1	1	2	認知症看護	1	1	1	1	1	訪問看護	1	1	1	1	1	手術看護	—	—	1	1	1	透析看護	—	—	1	1	1		小計	18	18	21	21	23	専門	がん看護	3	2	2	2	3	急性・救急看護	1	1	1	1	1		認定看護管理者	1	1	1	1	1	<p>8 入退院支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退院担当の看護師を中心に入院予定患者 247 件に介入した。12 診療科を対象に外来との連携を強化し、入院予定患者の早期の支援に繋げた。 転院先となる病院や訪問看護ステーション等への訪問活動を実施し、当院への要望も伺いながら、情報交換等を行った。 新型コロナウイルス感染拡大のため、視察は見送りとした。 		
区分	分野	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																																		
認定	皮膚・排泄ケア	2	2	3	3	3																																																																																																																																		
	集中ケア	2	2	2	2	2																																																																																																																																		
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	がん化学療法看護	1	1	2	2	3																																																																																																																																		
	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	感染管理	3	3	2	2	2																																																																																																																																		
	新生児集中ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	救急看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	慢性心不全看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	糖尿病看護	1	1	1	1	2																																																																																																																																		
	認知症看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	訪問看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	手術看護	—	—	1	1	1																																																																																																																																		
	透析看護	—	—	1	1	1																																																																																																																																		
	小計	18	18	21	21	23																																																																																																																																		
専門	がん看護	3	2	2	2	3																																																																																																																																		
	急性・救急看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																		
	認定看護管理者	1	1	1	1	1																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
		<p>7 ICT (情報通信技術) やAI (人工知能) 等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぎふ清流ネット」は継続使用するとともに、当院独自のシステムの構築に向け、地元医師会などとの調整を行った。 Web会議システムを、入退院支援、様々な連携会議、各種学会、委託業者や地域調剤薬局との会議等の他、院内の会議、委員会、病棟会等で広く活用した。 AI画像診断の導入については、経費面に加え、異常があった場合の通知方法など電子カルテシステムやPACS (医療用画像管理システム) との連携についても、課題が明らかとなったため、さらに検討をしていく。また、AI問診システムについては、導入に向けた環境を整備した。 <p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に関する講演会を、院内ネットワークを利用し動画を視聴する形式で2回実施。当院でのインシデント・アクシデント事案に基づいた内容で、事案から得た教訓を風化させないよう取り組んだ。 インシデント・アクシデント事案の収集・分析結果の検討や、公益財団法人日本医療機能評価機構等が発信する最新の医療安全に関する情報収集を行い、適宜、院内の各種マニュアルや手順書に反映させる等、継続的に見直しを行った。 医療安全管理者、医療機器安全機器責任者が、診療材料委員会に参加し、医療安全、品質の観点から診療材料の評価を行った。 臨床工学技士による医療機器の勉強会を、通常のように全体講義とせず、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、各病棟単位での少人数の勉強会として実施した。 医療安全ラウンドの他、麻薬ラウンドを毎月実施し、麻薬の適正使用・保管の啓発に努めている。 医療安全地域連携加算1-1、1-2施設間カンファレンスはWeb会議により実施し、客観的視点による医療安全施策の評価を図った。 4半期ごとに「医療安全一斉点検の日」を定め、全職員が医療安全に関する実践状況について自己チェックを行う取り組みを継続し、職員一人ひとりの安全意識の向上に努めた。 <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="481 1380 1131 1412"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2									
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																	
		<table border="1"> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,273</td> <td>3,474</td> <td>3,344</td> <td>3,895</td> <td>4,007</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,287</td> <td>3,497</td> <td>3,371</td> <td>3,923</td> <td>4,031</td> </tr> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>参加率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三方活栓による医療事故の対応(9/23)</td> <td>1,397</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>医薬品安全と事例を交え(2/25)</td> <td>965</td> <td>79%</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染防止委員会を毎月開催し、感染の発生状況や感染対策活動を報告し、注意喚起、感染対策の周知徹底を行った。併せて電子カルテの掲示板や院内メールを活用し、職員へ注意喚起を図った。 毎週、細菌検査室から院内分離菌情報の報告を受け、アウトブレイク等のリスク評価を実施し、リスクの高い病棟に対してはICT（Infection Control Team：感染防止対策チーム）ラウンドを行っている。 感染対策講演会の企画開催、感染対策に関する新規情報や院内の活動状況を掲載したICT通信の発行、院内ラウンドを通じ、職員への教育および啓発活動に努めた。講演会は、講演会場での参加を少人数に留め、後日、講演の模様をWeb上で視聴する形式とし、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した。 新型コロナウイルス感染防止対策のためのラウンドを実施するとともに、定期的に職員向け「ストップ！コロナ通信」を発行し、感染防止の意識を高めている。 全ての来院者に対して、検温と簡易問診を実施し、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止に努めた。 <p>【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>参加率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AST講演「抗微生物適正使用の手引き」</td> <td>1,123</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table>	インシデント	3,273	3,474	3,344	3,895	4,007	アクシデント	14	23	27	28	24	合計	3,287	3,497	3,371	3,923	4,031	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	三方活栓による医療事故の対応(9/23)	1,397	98%	医薬品安全と事例を交え(2/25)	965	79%	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	・AST講演「抗微生物適正使用の手引き」	1,123	95%			
インシデント	3,273	3,474	3,344	3,895	4,007																																	
アクシデント	14	23	27	28	24																																	
合計	3,287	3,497	3,371	3,923	4,031																																	
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）																																				
三方活栓による医療事故の対応(9/23)	1,397	98%																																				
医薬品安全と事例を交え(2/25)	965	79%																																				
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）																																				
・AST講演「抗微生物適正使用の手引き」	1,123	95%																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																										
		<table border="1"> <tr> <td>・感染対策講演「新型コロナウイルス感染症～今までわかったことと今後の課題～」(11/11)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AST講演「急性下痢症」 ・感染対策講演「新型コロナウイルス感染症の現状について」等(3/24)</td> <td>1,158</td> <td>95%</td> </tr> </table>	・感染対策講演「新型コロナウイルス感染症～今までわかったことと今後の課題～」(11/11)			・AST講演「急性下痢症」 ・感染対策講演「新型コロナウイルス感染症の現状について」等(3/24)	1,158	95%																																																																																							
・感染対策講演「新型コロナウイルス感染症～今までわかったことと今後の課題～」(11/11)																																																																																															
・AST講演「急性下痢症」 ・感染対策講演「新型コロナウイルス感染症の現状について」等(3/24)	1,158	95%																																																																																													
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間の改善等 2 院内環境の快適性の向上 3 医療に関する相談体制の充実 4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映	1 待ち時間の改善等 ・ 地域医療連携センターによる開業医への訪問活動に、診療科の医師も同行し紹介患者獲得及び高度医療機器利用率の向上を図った(48件)。 ・ 生理検査の呼出ペルの他、外来各科にはQRコードを読み取ることで、個人のスマートフォンに呼出メールが届く、「メール呼出システム」を構築した。 ・ 当院が参画する「千年カルテプロジェクト(全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究事業)」は、主体的に運営する法人にて、引き続き開発を進めている。 ・ 待ち時間調査は、現行の電子カルテシステムが対応できておらず、令和2年度の実施を見送った。 【平均待ち時間】 単位：分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>17</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> ※待ち時間は病院全体の時間 【CT、MRI検査件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>29,516</td> <td>32,872</td> <td>34,511</td> <td>33,727</td> <td>31,307</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>9,833</td> <td>10,208</td> <td>10,766</td> <td>10,759</td> <td>9,677</td> </tr> </tbody> </table> 【手術件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td> <td>4,814</td> <td>4,933</td> <td>4,799</td> <td>4,857</td> <td>4,185</td> </tr> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,471</td> <td>2,778</td> <td>2,858</td> <td>2,912</td> <td>2,907</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,284</td> <td>7,711</td> <td>7,657</td> <td>7,769</td> <td>7,092</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	R1	R2		17	21	12	—	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	CT件数	29,516	32,872	34,511	33,727	31,307	MRI件数	9,833	10,208	10,766	10,759	9,677	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	手術室	4,814	4,933	4,799	4,857	4,185	中放内視鏡	2,471	2,778	2,858	2,912	2,907	合計	7,284	7,711	7,657	7,769	7,092	4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上 ・ 患者サポート体制カンファレンスを毎週1回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。 ・ 患者満足度調査により、施設、接遇、待ち時間の満足度が低い項目を洗い出し、対応を検討した。 【満足度調査の比較】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">満足度</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>98.1</td> <td>95.5</td> <td>96.4</td> <td>97.3</td> <td>95.3</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院(平均値)</td> <td>89.1</td> <td>89.9</td> <td>89.3</td> <td>88.7</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.7</td> <td>87.2</td> <td>87.9</td> <td>82.7</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院(平均値)</td> <td>83.0</td> <td>82.5</td> <td>82.5</td> <td>81.5</td> <td>89.5</td> </tr> </tbody> </table> ※ Q Iプロジェクトデータを全て引用 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・ 各診療科、部門が作成する説明書・同意書については、必要な情報を、患者がより理解しやすいものとするため、適宜、当院の診療委員会で審議し、見直しを行った。 ・ がんに関するセカンドオピニオンは、当院から他院への希望が38件、他院から当院への希望が4件で、個々のニーズに対応した。がん地域連			満足度					H28	H29	H30	R1	R2	入院	当院	98.1	95.5	96.4	97.3	95.3	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	89.1	89.9	89.3	88.7	81.9	外来	当院	87.7	87.2	87.9	82.7	85.0	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	83.0	82.5	82.5	81.5	89.5	IV	患者待ち時間の改善に向けた新たな取り組み、医療相談を通じた患者サポートの充実化、治療効果を高めるための栄養指導にも積極的に取り組み、院内環境の向上に繋がった実績を評価
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																											
	17	21	12	—																																																																																											
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																										
CT件数	29,516	32,872	34,511	33,727	31,307																																																																																										
MRI件数	9,833	10,208	10,766	10,759	9,677																																																																																										
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																										
手術室	4,814	4,933	4,799	4,857	4,185																																																																																										
中放内視鏡	2,471	2,778	2,858	2,912	2,907																																																																																										
合計	7,284	7,711	7,657	7,769	7,092																																																																																										
		満足度																																																																																													
		H28	H29	H30	R1	R2																																																																																									
入院	当院	98.1	95.5	96.4	97.3	95.3																																																																																									
	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	89.1	89.9	89.3	88.7	81.9																																																																																									
外来	当院	87.7	87.2	87.9	82.7	85.0																																																																																									
	Q Iプロジェクト参加病院(平均値)	83.0	82.5	82.5	81.5	89.5																																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																										
		<p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 病棟において、長期間使用しているエアコンの分解・清掃、古くなった床やクロスの貼替、汚れたブラインドやカーテンの交換などを行った。 患者からの施設に係る意見、要望等は、施設管理、清掃などの委託業務に関連するものも多く、委託業者も含めて情報を展開し改善を図るとともに、患者へフィードバックした。 毎食の残食調査、隔月（年間6回）の嗜好調査で患者の満足度等の調査を実施。医師・管理栄養士や看護師・事務の栄養管理委員による検食結果と合わせて給食委託会社と献立や食材の見直しを行い、患者給食の向上を図った。 喫食量の低下した患者や低栄養の患者への早期の介入による低栄養の改善、また、特別食・がん・低栄養・嚥下食患者への栄養指導を行った。 低栄養患者に対して、NST（栄養サポートチーム）が介入し多職種協働で早期改善を図った。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="465 850 1128 978"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>5,164</td> <td>5,113</td> <td>4,173</td> <td>4,585</td> <td>5,317</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>1,044</td> <td>2,140</td> <td>3,009</td> <td>5,700</td> <td>7,439</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>430</td> <td>442</td> <td>488</td> <td>555</td> <td>696</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> よろず相談の内容により必要と判断した場合には、患者サポート体制カンファレンスでの対応に繋げた。患者サポートカンファレンスは、毎週1回開催し、情報収集や問題点等の洗い出し、改善に向けて関係部署や本人への働きかけを行った。取り扱った症例数は199件。 入院決定から退院まで、患者の状況に応じて相談に対応し、手術予定の患者を中心に入院前から対応した(247件)。また、医師から患者へ説明が行われるときは、医療相談課職員が同席するよう努めた。 がんサロンは、新型コロナウイルス感染拡大により、開場日が限られたため、来訪者は減少したが、がん相談に関わるスタッフ間の情報共有や検討を積極的に行った。 東濃情報交換会およびピアサポーター育成研修・フォロー研修は、新 	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	栄養指導	5,164	5,113	4,173	4,585	5,317	栄養管理	1,044	2,140	3,009	5,700	7,439	NST介入	430	442	488	555	696	<p>携パスの使用は19症例で、開業医と連携し継続してフォローを行っている。</p> <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1218 384 1809 491"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>61</td> <td>76</td> <td>68</td> <td>51</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院広報誌「けんびょういん」を令和2年10月と令和3年2月に発行し、医療に関する情報を積極的に発信した。 地域住民等と病院とで構成する「岐阜県立多治見病院運営協議会」を開催し、病院施設の整備（新中央診療棟、立体駐車場等）や、当院における新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み等をテーマに意見交換を行った（3月開催）。 病院ホームページは、全面的に更新し、総務省のアクセシビリティ対応ガイドラインに準拠するとともに、利用しやすいものとした。 	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	外来受入	6	5	7	7	4	他院紹介	61	76	68	51	38		
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																										
栄養指導	5,164	5,113	4,173	4,585	5,317																																										
栄養管理	1,044	2,140	3,009	5,700	7,439																																										
NST介入	430	442	488	555	696																																										
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																										
外来受入	6	5	7	7	4																																										
他院紹介	61	76	68	51	38																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																						
		<p>型コロナウイルス感染拡大ため開催を見送った。</p> <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>322</td> <td>423</td> <td>517</td> <td>509</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,129</td> <td>1,434</td> <td>1,804</td> <td>2,214</td> <td>2,432</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>14,597</td> <td>15,969</td> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>228</td> <td>192</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>57</td> <td>61</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>42</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	かかりつけ医への紹介	322	423	517	509	414	よろず相談	1,129	1,434	1,804	2,214	2,432	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医療相談件数	14,597	15,969	17,605	20,450	21,347	がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	55	58	228	192	39	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	請求件数	57	61	48	34	28	開示件数	42	57	48	34	28			
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																						
かかりつけ医への紹介	322	423	517	509	414																																																						
よろず相談	1,129	1,434	1,804	2,214	2,432																																																						
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																						
医療相談件数	14,597	15,969	17,605	20,450	21,347																																																						
がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	55	58	228	192	39																																																						
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																						
請求件数	57	61	48	34	28																																																						
開示件数	42	57	48	34	28																																																						
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センターが中心となり、医療連携推進協議会（6月、9月、12月、3月）、東濃可児地域病連携推進会議（4月）、地域連携パス合同会議（6月、11月、3月）、循環器病診療連携会議（9月、10月、12月、3月）を開催し、他医療機関との情報交換をとおして、患者動向や医療需要の把握に努めた。 地域の医療需要に対応し10月に児童精神科外来を開設。診察実績は延べ75件となった。 <p>【連携予約状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,217</td> <td>1,213</td> <td>1,247</td> <td>1,427</td> <td>1,212</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>880</td> <td>818</td> <td>870</td> <td>995</td> <td>752</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,675</td> <td>1,715</td> <td>1,922</td> <td>2,047</td> <td>1,936</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10,028</td> <td>10,732</td> <td>11,115</td> <td>11,743</td> <td>10,076</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	整形外科	1,217	1,213	1,247	1,427	1,212	神経内科	880	818	870	995	752	消化器内科	1,675	1,715	1,922	2,047	1,936	その他	10,028	10,732	11,115	11,743	10,076	<p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。（医師、看護師等、延べ7名を再雇用） 新設した医療機器整備室に専任の医療機器調整監を配置した。 看護師の業務負担軽減のため、新たに介護福祉士3名を採用し、病棟に配置した。 	IV	地域の医療需要を継続的に把握しながら、児童精神科外来を開設し、診療体制の充実を図った実績を評価																								
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																						
整形外科	1,217	1,213	1,247	1,427	1,212																																																						
神経内科	880	818	870	995	752																																																						
消化器内科	1,675	1,715	1,922	2,047	1,936																																																						
その他	10,028	10,732	11,115	11,743	10,076																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																												
		<table border="1"> <tr> <td>合計</td> <td>13,800</td> <td>14,478</td> <td>15,154</td> <td>16,212</td> <td>13,976</td> </tr> </table> <p>【訪問活動・健康づくり講座】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動(件)</td> <td>17</td> <td>100</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>健康づくり講座(回)</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療連携交流会】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>68</td> <td>中止</td> <td>開催自粛</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>118</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	合計	13,800	14,478	15,154	16,212	13,976	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	訪問活動(件)	17	100	20	34	48	健康づくり講座(回)	15	20	21	17	3	区分\年度	H30	R1	R2	院外参加者数	68	中止	開催自粛	院内参加者数	50			合計	118																																																									
合計	13,800	14,478	15,154	16,212	13,976																																																																																												
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																												
訪問活動(件)	17	100	20	34	48																																																																																												
健康づくり講座(回)	15	20	21	17	3																																																																																												
区分\年度	H30	R1	R2																																																																																														
院外参加者数	68	中止	開催自粛																																																																																														
院内参加者数	50																																																																																																
合計	118																																																																																																
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <p>2 地域連携クリニカルパス</p> <p>3 疾病予防の推進</p> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を実施（48件）し、近隣病院との役割分担の明確化、連携強化を図った。また、診療科の医師も訪問に同行し紹介患者獲得に向けて活動した。【再掲：No.02】 多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）については、新型コロナウイルス感染拡大のなかにあっても、利用件数は大きく減少することなく前年度並みの利用があり、患者紹介率、逆紹介率としても高い水準を維持することができた。 <p>【多治見シャトル利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,082</td> <td>1,626</td> <td>2,043</td> <td>2,840</td> <td>2,834</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61.2</td> <td>63.7</td> <td>67.0</td> <td>78.4</td> <td>82.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	R1	R2	1,082	1,626	2,043	2,840	2,834	H28	H29	H30	R1	R2	61.2	63.7	67.0	78.4	82.0	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2							<p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、医療連携推進協議会（4回）を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。 <p>【地域連携パス運用実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>100</td> <td>115</td> <td>101</td> <td>129</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>263</td> <td>247</td> <td>267</td> <td>238</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>92</td> <td>65</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>485</td> <td>439</td> <td>409</td> <td>388</td> <td>374</td> </tr> </tbody> </table> <p>【共同指導・連携指導の実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導実績</td> <td>90</td> <td>129</td> <td>171</td> <td>204</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>187</td> <td>184</td> <td>371</td> <td>372</td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 疾病予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民を対象とした健康づくり講座は、新型コロナウイルス感染拡 	パス名\年度	H28	H29	H30	R1	R2	大腿骨頸部骨折	100	115	101	129	93	脳卒中	263	247	267	238	251	5大がん	30	12	16	6	19	狭心症・心筋梗塞	92	65	25	15	11	糖尿病	0	0	0	0	0	合計	485	439	409	388	374	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	退院時共同指導実績	90	129	171	204	222	介護支援連携指導	187	184	371	372	229	IV	開業医、連携病院、訪問看護ステーションを積極的に訪問し、近隣の医療機関との連携強化の取組を評価。
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																													
1,082	1,626	2,043	2,840	2,834																																																																																													
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																													
61.2	63.7	67.0	78.4	82.0																																																																																													
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																												
パス名\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																												
大腿骨頸部骨折	100	115	101	129	93																																																																																												
脳卒中	263	247	267	238	251																																																																																												
5大がん	30	12	16	6	19																																																																																												
狭心症・心筋梗塞	92	65	25	15	11																																																																																												
糖尿病	0	0	0	0	0																																																																																												
合計	485	439	409	388	374																																																																																												
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																												
退院時共同指導実績	90	129	171	204	222																																																																																												
介護支援連携指導	187	184	371	372	229																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																														
		<table border="1"> <tr> <td>紹介率 (単位：%)</td> <td>75.7</td> <td>76.2</td> <td>75.1</td> <td>73.4</td> <td>74.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数 (単位：件)</td> <td>22,553</td> <td>22,651</td> <td>22,632</td> <td>20,677</td> <td>17,048</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位：%)</td> <td>86.2</td> <td>88.0</td> <td>89.2</td> <td>101.2</td> <td>98.6</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数 (単位：件)</td> <td>17,325</td> <td>17,437</td> <td>18,246</td> <td>19,996</td> <td>16,590</td> </tr> </table> <p>【高度医療機器利用状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T</td> <td>887</td> <td>924</td> <td>892</td> <td>1,031</td> <td>856</td> </tr> <tr> <td>M R I</td> <td>580</td> <td>666</td> <td>612</td> <td>607</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>128</td> <td>128</td> <td>130</td> <td>158</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>P E T</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>骨密度</td> <td>63</td> <td>66</td> <td>76</td> <td>85</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,715</td> <td>1,842</td> <td>1,749</td> <td>1,931</td> <td>1,791</td> </tr> </tbody> </table> <p>【開放型病床利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>21</td> <td>50</td> <td>26</td> <td>11</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週1回、医療相談課全体ミーティング（入退院支援担当看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）を開催しており、退院調整看護師と相談員とは、常に情報共有をしながら、連携体制を維持・強化している。退院支援は、半数を超える入院患者に介入している。 連携病院 21 施設と新しく開設された訪問看護ステーション 2 件を訪問した。当院への要望も伺いながら可能な限り対応し、地域の関係機関との連携強化に努めている。 <p>【在宅復帰率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	紹介率 (単位：%)	75.7	76.2	75.1	73.4	74.3	紹介実件数 (単位：件)	22,553	22,651	22,632	20,677	17,048	逆紹介率 (単位：%)	86.2	88.0	89.2	101.2	98.6	逆紹介実件数 (単位：件)	17,325	17,437	18,246	19,996	16,590	機器名\年度	H28	H29	H30	R1	R2	C T	887	924	892	1,031	856	M R I	580	666	612	607	601	R I	128	128	130	158	194	P E T	57	58	39	50	61	骨密度	63	66	76	85	79	合 計	1,715	1,842	1,749	1,931	1,791	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医科	21	50	26	11	1	歯科	22	24	24	29	20	H28	H29	H30	R1	R2						大防止のため、3回の開催にとどまったが、病院広報誌「けんびょういん」を2回発行し、新型コロナウイルス感染対策などの情報を発信した。		
紹介率 (単位：%)	75.7	76.2	75.1	73.4	74.3																																																																																														
紹介実件数 (単位：件)	22,553	22,651	22,632	20,677	17,048																																																																																														
逆紹介率 (単位：%)	86.2	88.0	89.2	101.2	98.6																																																																																														
逆紹介実件数 (単位：件)	17,325	17,437	18,246	19,996	16,590																																																																																														
機器名\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																														
C T	887	924	892	1,031	856																																																																																														
M R I	580	666	612	607	601																																																																																														
R I	128	128	130	158	194																																																																																														
P E T	57	58	39	50	61																																																																																														
骨密度	63	66	76	85	79																																																																																														
合 計	1,715	1,842	1,749	1,931	1,791																																																																																														
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																														
医科	21	50	26	11	1																																																																																														
歯科	22	24	24	29	20																																																																																														
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																						
		<table border="1"> <tr> <td>86.50</td> <td>87.3</td> <td>92.1</td> <td>91.0</td> <td>91.6</td> </tr> </table> <p>【相談対応件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>14,597</td> <td>15,969</td> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> </tr> </table> <p>【合同カンファレンスの実績】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>277</td> <td>313</td> <td>386</td> <td>465</td> <td>450</td> </tr> </table>	86.50	87.3	92.1	91.0	91.6	H28	H29	H30	R1	R2	14,597	15,969	17,605	20,450	21,347	H28	H29	H30	R1	R2	277	313	386	465	450																																																																																																
86.50	87.3	92.1	91.0	91.6																																																																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																							
14,597	15,969	17,605	20,450	21,347																																																																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																							
277	313	386	465	450																																																																																																																							
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 救急医療</p> <p>2 周産期医療</p> <p>3 がん医療</p> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <p>5 緩和ケア</p> <p>6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p>	<p>1 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターと各診療科の緊密な連携、協力のもと救急医療体制を維持した。 搬送者及び救急外来受診の患者で、発熱等新型コロナウイルス感染を疑う患者に対しては全件院内での検査を実施した。 <p>【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,539</td> <td>52.7</td> <td>1,440</td> <td>49.3</td> <td>1,526</td> <td>52.3</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>844</td> <td>77.1</td> <td>907</td> <td>82.8</td> <td>864</td> <td>78.9</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,678</td> <td>51.1</td> <td>1,688</td> <td>51.4</td> <td>1,688</td> <td>48.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,061</td> <td>55.6</td> <td>4,035</td> <td>55.3</td> <td>3,975</td> <td>54.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> <th>延患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,554</td> <td>53.2</td> <td>1,567</td> <td>53.7</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>840</td> <td>76.7</td> <td>768</td> <td>70.1</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,481</td> <td>45.1</td> <td>1,032</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,875</td> <td>53.1</td> <td>3,367</td> <td>46.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28		H29		H30		延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3	CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9	HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,688	48.2	合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5	年度	R1		R2		延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	ICU	1,554	53.2	1,567	53.7	CCU	840	76.7	768	70.1	HCU	1,481	45.1	1,032	31.4	合計	3,875	53.1	3,367	46.1	<p>5 緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアセンターを活用し、退院支援カンファレンスや緩和ケアに関わる他医療機関及び多職種連携のカンファレンスを開催した。入院から在宅での緩和ケアへ円滑に移行できるよう関係機関で患者情報を共有し、連携の強化を行った。 一般病棟での症状緩和は、緩和ケアチームが中心となり、院内の要請を受け対応を行っている。 <p>【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア講演会</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア市民公開講座</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【緩和ケアの患者動向】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,237</td> <td>4,011</td> <td>3,433</td> <td>3,427</td> <td>1,584</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>129</td> <td>143</td> <td>124</td> <td>155</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年12月から令和3年2月まで、新型コロナウイルス感染対策のため、緩和ケア病棟を一時休止。</p>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	緩和ケア勉強会	6	6	6	5	0	緩和ケア研修会	1	1	1	0	1	緩和ケア講演会	2	0	0	0	0	緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	入院患者数	3,237	4,011	3,433	3,427	1,584	外来患者数	129	143	124	155	150	IV	感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症へ対応し、その中において重点医療の提供を推進した実績を評価
年度	H28			H29		H30																																																																																																																					
	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)																																																																																																																					
ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3																																																																																																																					
CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9																																																																																																																					
HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,688	48.2																																																																																																																					
合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5																																																																																																																					
年度	R1		R2																																																																																																																								
	延患者数(人)	病床利用率(%)	延患者数(人)	病床利用率(%)																																																																																																																							
ICU	1,554	53.2	1,567	53.7																																																																																																																							
CCU	840	76.7	768	70.1																																																																																																																							
HCU	1,481	45.1	1,032	31.4																																																																																																																							
合計	3,875	53.1	3,367	46.1																																																																																																																							
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																						
緩和ケア勉強会	6	6	6	5	0																																																																																																																						
緩和ケア研修会	1	1	1	0	1																																																																																																																						
緩和ケア講演会	2	0	0	0	0																																																																																																																						
緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1																																																																																																																						
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																						
入院患者数	3,237	4,011	3,433	3,427	1,584																																																																																																																						
外来患者数	129	143	124	155	150																																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																		
		<p>【救急車両受入台数】 単位：台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,678</td> <td>4,973</td> <td>5,082</td> <td>5,136</td> <td>4,110</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.8</td> <td>13.6</td> <td>13.9</td> <td>14.0</td> <td>11.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【心臓血管手術症例数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>25</td> <td>36</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>29</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>47</td> <td>53</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>81</td> <td>92</td> <td>84</td> <td>82</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>182</td> <td>218</td> <td>208</td> <td>204</td> <td>143</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術・検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>981</td> <td>1,022</td> <td>1,069</td> <td>893</td> <td>828</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>385</td> <td>443</td> <td>361</td> <td>357</td> <td>351</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>78</td> <td>98</td> <td>195</td> <td>64</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>64</td> <td>52</td> <td>71</td> <td>68</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <p>【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用(単位：件)</td> <td>92</td> <td>65</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>登録医師数(単位：人)</td> <td>74</td> <td>73</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。 新型コロナウイルス母子感染防止のため、希望者に対して検査を実施した。 	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	受入台数	4,678	4,973	5,082	5,136	4,110	一日平均台数	12.8	13.6	13.9	14.0	11.3	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	虚血性心疾患	25	36	42	35	28	弁膜症	29	37	37	42	36	大動脈	47	53	45	45	39	その他	81	92	84	82	40	合計	182	218	208	204	143	区分\年	H28	H29	H30	R1	R2	心カテ	981	1,022	1,069	893	828	PCI※	385	443	361	357	351	区分\年	H28	H29	H30	R1	R2	アブレーション	78	98	195	64	222	PMI※	64	52	71	68	38	ICD※	12	18	18	8	8	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	パス運用(単位：件)	92	65	25	15	11	登録医師数(単位：人)	74	73	65	65	63	<p>6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> レスパイトケアの施設・備品、人員体制、運用方法等について先進病院の事例を参考とすることとし、情報収集に努めた。 		
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																		
受入台数	4,678	4,973	5,082	5,136	4,110																																																																																																																		
一日平均台数	12.8	13.6	13.9	14.0	11.3																																																																																																																		
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																		
虚血性心疾患	25	36	42	35	28																																																																																																																		
弁膜症	29	37	37	42	36																																																																																																																		
大動脈	47	53	45	45	39																																																																																																																		
その他	81	92	84	82	40																																																																																																																		
合計	182	218	208	204	143																																																																																																																		
区分\年	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																		
心カテ	981	1,022	1,069	893	828																																																																																																																		
PCI※	385	443	361	357	351																																																																																																																		
区分\年	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																		
アブレーション	78	98	195	64	222																																																																																																																		
PMI※	64	52	71	68	38																																																																																																																		
ICD※	12	18	18	8	8																																																																																																																		
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																		
パス運用(単位：件)	92	65	25	15	11																																																																																																																		
登録医師数(単位：人)	74	73	65	65	63																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																						
		<p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数 (単位: 件)</td> <td>528</td> <td>533</td> <td>541</td> <td>524</td> <td>462</td> </tr> <tr> <td>新生児数 (単位: 人)</td> <td>563</td> <td>563</td> <td>577</td> <td>547</td> <td>516</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年間入院者数</td> <td>NICU (単位: 人)</td> <td>219</td> <td>219</td> <td>203</td> <td>204</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>GCU (単位: 人)</td> <td>444</td> <td>444</td> <td>390</td> <td>426</td> <td>370</td> </tr> <tr> <td>産科 (単位: 人)</td> <td>719</td> <td>719</td> <td>688</td> <td>663</td> <td>638</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数 (単位: 件)</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>76</td> <td>66</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数 (単位: 件)</td> <td>60</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>68</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度、がん相談は延べ1,218件に対応した。がん相談支援センターのPRも兼ねて、東濃地域を中心とした公立図書館にパンフレットを配布し、がん医療に関する情報を幅広く提供した。 高精度放射線治療装置(ノバリスTx・トゥルービーム)の2台体制により、正確で質の高い放射線治療を提供した、特徴を生かしたより先進的かつ効果的な放射線治療の提供に努めた。 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関として、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に引き続き協力した。患者に対しては、事業に関する情報提供に努めている。 ゲノム医療に関しては、名古屋大学と連携して、検討会を毎週1回開催し、当院からは8件について発表した。また、名古屋大学との事務手続き等について、マニュアルを作成した。なお、院内でのゲノム医療に関する勉強会は、新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見合わせた。 社会労務士による就労相談、ハローワークの相談を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大による閉鎖もあったことから、利用件数は少ないものとなった。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数 (単位: 人)</td> <td>2,695</td> <td>2,805</td> <td>3,060</td> <td>2,858</td> <td>2,808</td> </tr> <tr> <td>外来患者数 (単位: 人)</td> <td>1,675</td> <td>1,877</td> <td>1,848</td> <td>1,818</td> <td>1,923</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,121</td> <td>1,108</td> <td>1,066</td> <td>1,036</td> <td>945</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法件数</td> <td>入院</td> <td>1,824</td> <td>1,510</td> <td>1,433</td> <td>1,505</td> <td>1,760</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,403</td> <td>11,610</td> <td>11,842</td> <td>12,704</td> <td>11,176</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	分娩件数 (単位: 件)	528	533	541	524	462	新生児数 (単位: 人)	563	563	577	547	516	年間入院者数	NICU (単位: 人)	219	219	203	204	185	GCU (単位: 人)	444	444	390	426	370	産科 (単位: 人)	719	719	688	663	638	母胎搬送件数 (単位: 件)	92	95	76	66	86	新生児搬送件数 (単位: 件)	60	52	76	68	48	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	入院患者数 (単位: 人)	2,695	2,805	3,060	2,858	2,808	外来患者数 (単位: 人)	1,675	1,877	1,848	1,818	1,923	手術件数	1,121	1,108	1,066	1,036	945	化学療法件数	入院	1,824	1,510	1,433	1,505	1,760	外来	11,403	11,610	11,842	12,704	11,176			
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																						
分娩件数 (単位: 件)	528	533	541	524	462																																																																																						
新生児数 (単位: 人)	563	563	577	547	516																																																																																						
年間入院者数	NICU (単位: 人)	219	219	203	204	185																																																																																					
	GCU (単位: 人)	444	444	390	426	370																																																																																					
	産科 (単位: 人)	719	719	688	663	638																																																																																					
母胎搬送件数 (単位: 件)	92	95	76	66	86																																																																																						
新生児搬送件数 (単位: 件)	60	52	76	68	48																																																																																						
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																						
入院患者数 (単位: 人)	2,695	2,805	3,060	2,858	2,808																																																																																						
外来患者数 (単位: 人)	1,675	1,877	1,848	1,818	1,923																																																																																						
手術件数	1,121	1,108	1,066	1,036	945																																																																																						
化学療法件数	入院	1,824	1,510	1,433	1,505	1,760																																																																																					
	外来	11,403	11,610	11,842	12,704	11,176																																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																	
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">放射線治療施行回数</td> <td>入院</td> <td>2,958</td> <td>2,853</td> <td>3,169</td> <td>2,950</td> <td>2,835</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>4,864</td> <td>5,185</td> <td>5,825</td> <td>6,481</td> <td>5,834</td> </tr> </table> <p>【がんパス件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム（ノバリスT x・トゥルービーム）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数（単位：人）</td> <td>307</td> <td>344</td> <td>471</td> <td>462</td> <td>446</td> </tr> <tr> <td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td> <td>273</td> <td>254</td> <td>295</td> <td>337</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>延べ件数（単位：件）</td> <td>5,988</td> <td>6,491</td> <td>9,413</td> <td>9,714</td> <td>9,040</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関として、救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者の受け入れ体制を継続維持した。 精神科医療機関（病院）に訪問することで連携強化に取り組み、患者入院の問い合わせが増加するなどの成果があった。 東濃精神科医療連絡会は新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を見合わせた。 地域の医療需要に対応し10月に児童精神科外来を開設。診察実績は延べ75件となった。【再掲：No.03】 <p>【患者の受入れ実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>3,361</td> <td>2,957</td> <td>1,603</td> <td>1,365</td> <td>2,197</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>6,220</td> <td>5,900</td> <td>4,842</td> <td>5,421</td> <td>3,761</td> </tr> </tbody> </table>	放射線治療施行回数	入院	2,958	2,853	3,169	2,950	2,835	外来	4,864	5,185	5,825	6,481	5,834	H28	H29	H30	R1	R2	30	12	16	6	19	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	患者数（単位：人）	307	344	471	462	446	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	273	254	295	337	392	延べ件数（単位：件）	5,988	6,491	9,413	9,714	9,040	病床\年度	H28	H29	H30	R1	R2	結核、感染症	3,361	2,957	1,603	1,365	2,197	精神科	6,220	5,900	4,842	5,421	3,761			
放射線治療施行回数	入院	2,958		2,853	3,169	2,950	2,835																																																															
	外来	4,864	5,185	5,825	6,481	5,834																																																																
H28	H29	H30	R1	R2																																																																		
30	12	16	6	19																																																																		
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																	
患者数（単位：人）	307	344	471	462	446																																																																	
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	273	254	295	337	392																																																																	
延べ件数（単位：件）	5,988	6,491	9,413	9,714	9,040																																																																	
病床\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																	
結核、感染症	3,361	2,957	1,603	1,365	2,197																																																																	
精神科	6,220	5,900	4,842	5,421	3,761																																																																	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 受託可能な案件がなく、新規受託はゼロとなった。 <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 <p>【臨床研究及び治験件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td> <td>21</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	治験実施件数	1	1	3	0	0	臨床共同研究件数	21	40	30	13	12	III	継続的な取組が実施できており、 平成28年度の実績と評価
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																		
治験実施件数	1	1	3	0	0																		
臨床共同研究件数	21	40	30	13	12																		
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 当院ホームページ上のQ I 指標及び厚生労働省病院指標は、2019 年度分の更新を行った。 診療に関する情報を分析・集計し、院内各部署からの集計依頼等に対応し、必要な情報を適時に提供した。 医療連携推進協議会（4回）を通じて、関係機関と医療情報の共有を図った。 <p>【看護必要度】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td> <td>27.6</td> <td>29.0</td> <td>37.8</td> <td>31.2</td> <td>33.7</td> </tr> <tr> <td>7対1施設基準</td> <td>25.0</td> <td>25.0</td> <td>30.0</td> <td>25.0</td> <td>29.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 28 年度、30 年度の改定時に評価項目の大幅な変</p>	項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2	当院値	27.6	29.0	37.8	31.2	33.7	7対1施設基準	25.0	25.0	30.0	25.0	29.0	III	D P C 特定病院群の維持に努め、継続的な取組が実施できており、 平成28年度の実績と評価
項目\年度	H28	H29	H30	R1	R2																		
当院値	27.6	29.0	37.8	31.2	33.7																		
7対1施設基準	25.0	25.0	30.0	25.0	29.0																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																														
			<p>更あり（値も大きく変動）</p> <p>【診療密度】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\改定年度</th> <th>H26</th> <th>H28</th> <th>H30</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td> <td>2381.11</td> <td>2416.98</td> <td>2386.25</td> <td>2674.42</td> </tr> <tr> <td>II群基準値</td> <td>2482.09</td> <td>2513.24</td> <td>2413.38</td> <td>2476.99</td> </tr> <tr> <td>対基準値 (%)</td> <td>95.93</td> <td>96.17</td> <td>98.88</td> <td>107.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【DPC係数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年月</th> <th>H28.4 ※</th> <th>H29.4</th> <th>H30.4 ※</th> <th>H31.4</th> <th>R2.4 ※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎係数</td> <td>1.0296</td> <td>1.0296</td> <td>1.0314</td> <td>1.0314</td> <td>1.0708</td> </tr> <tr> <td>暫定調整係数</td> <td>0.0224</td> <td>0.0224</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> </tr> <tr> <td>機能評価係数II</td> <td>0.0758</td> <td>0.0762</td> <td>0.1295</td> <td>0.1275</td> <td>0.1005</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改定年</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本病院会「Q Iプロジェクト」、京都大学Q I P事業に参加した。Q Iデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上で公開した。また、その分析結果を医療の質向上委員会にて報告、検討し、PDCAサイクルに基づいた医療の質向上に努めた。 国や県の行うがん登録事業に継続参加した。 DPCデータや診療情報システム（EVE・メディカルコード・M I L）を活用し、医師や各部門へデータ提供を行い、診療報酬委員会へ分析結果等の提供を行った。 <p>【Q I指標項目数】 単位：個</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がん登録件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,799</td> <td>1,661</td> <td>1,978</td> <td>1,453</td> </tr> </tbody> </table>	項目\改定年度	H26	H28	H30	R2	当院値	2381.11	2416.98	2386.25	2674.42	II群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	2476.99	対基準値 (%)	95.93	96.17	98.88	107.8	項目\年月	H28.4 ※	H29.4	H30.4 ※	H31.4	R2.4 ※	基礎係数	1.0296	1.0296	1.0314	1.0314	1.0708	暫定調整係数	0.0224	0.0224	0.0000	0.0000	0.0000	機能評価係数II	0.0758	0.0762	0.1295	0.1275	0.1005	H28	H29	H30	R1	R2	43	43	40	40	40	H29	H30	R1	R2	1,799	1,661	1,978	1,453		
項目\改定年度	H26	H28	H30	R2																																																															
当院値	2381.11	2416.98	2386.25	2674.42																																																															
II群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	2476.99																																																															
対基準値 (%)	95.93	96.17	98.88	107.8																																																															
項目\年月	H28.4 ※	H29.4	H30.4 ※	H31.4	R2.4 ※																																																														
基礎係数	1.0296	1.0296	1.0314	1.0314	1.0708																																																														
暫定調整係数	0.0224	0.0224	0.0000	0.0000	0.0000																																																														
機能評価係数II	0.0758	0.0762	0.1295	0.1275	0.1005																																																														
H28	H29	H30	R1	R2																																																															
43	43	40	40	40																																																															
H29	H30	R1	R2																																																																
1,799	1,661	1,978	1,453																																																																

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い臨床研修医の養成等</p> <p>2 専攻医の育成等</p>		<p>1 質の高い臨床研修医の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による勉強会として、総合診療教育カンファレンスを開催した。(計9回実施) 研修医を対象とした内科症例検討会(11回)、各診療科部長による実践的な講義(毎月2診療科)、早朝勉強会(月1回)を開催した。 <p>【医師の研修派遣実績人数】 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>424</td> <td>409</td> <td>510</td> <td>455</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table> <p>【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り</td> </tr> </tbody> </table> <p>【研修医を対象とした外部講師開催実績】 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>講演会等名</th> <th>回数</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療教育カンファレンス</td> <td>9回</td> <td>名古屋大学医学部附属病院 総合診療科 松久貴晴 先生</td> <td>延べ141人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	派遣	424	409	510	455	182	開催日	講演会等名	講師	参加者	新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り				講演会等名	回数	講師	参加者	総合診療教育カンファレンス	9回	名古屋大学医学部附属病院 総合診療科 松久貴晴 先生	延べ141人	III	継続的な取組が実施でき ており、平年並みの実績 と評価
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
派遣	424	409	510	455	182																												
開催日	講演会等名	講師	参加者																														
新型コロナウイルス感染拡大のため開催見送り																																	
講演会等名	回数	講師	参加者																														
総合診療教育カンファレンス	9回	名古屋大学医学部附属病院 総合診療科 松久貴晴 先生	延べ141人																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																								
			<table border="1"> <tr> <td>総合内科診療教育研修</td> <td>11回</td> <td>名古屋通信病院 院長 三島 信彦 先生</td> <td>延べ58人</td> </tr> </table> <p>【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 専攻医に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科領域、外科領域及び精神科領域における専門研修プログラムの基幹施設として、内科6名、外科1名、精神科1名を当院プログラムに採用した。 内科専門研修プログラムの基幹施設として、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS 講習会）を開催し、当院内科専門研修プログラムの専攻医1年目5名が受講した。 <p>【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	総合内科診療教育研修	11回	名古屋通信病院 院長 三島 信彦 先生	延べ58人	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医師	21	21	23	23	26	歯科医師	2	2	2	2	2	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医師	13	19	16	19	20	歯科医師	1	1	1	3	2		
総合内科診療教育研修	11回	名古屋通信病院 院長 三島 信彦 先生	延べ58人																																										
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																								
医師	21	21	23	23	26																																								
歯科医師	2	2	2	2	2																																								
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																								
医師	13	19	16	19	20																																								
歯科医師	1	1	1	3	2																																								
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>3 岐阜県立多治見看護専門学校</p>		<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、感染対策しながら積極的に受け入れ実習を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。 <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>41</td> <td>52</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>380</td> <td>458</td> <td>505</td> <td>481</td> <td>426</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>57</td> <td>59</td> <td>69</td> <td>63</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>453</td> <td>539</td> <td>615</td> <td>596</td> <td>511</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医学生	16	22	41	52	18	看護学生	380	458	505	481	426	コメディカル	57	59	69	63	67	合計	453	539	615	596	511	III	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、最大限の受入を実施したが、平年並みの実績と評価										
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																								
医学生	16	22	41	52	18																																								
看護学生	380	458	505	481	426																																								
コメディカル	57	59	69	63	67																																								
合計	453	539	615	596	511																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																														
	での看護師養成に対する支援		<p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67</td> <td>92</td> <td>108</td> <td>64</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的実施し、医療技術の向上を図った。 <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>33</td> <td>54</td> <td>78</td> <td>82</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49</td> <td>63</td> <td>86</td> <td>98</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。 	H28	H29	H30	R1	R2	67	92	108	64	30	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	生涯教育実習	33	54	78	82	76	就業前実習	8	4	4	8	7	気管挿管実習	2	4	2	2	6	薬剤投与実習	6	1	2	6	7	合計	49	63	86	98	96		
H28	H29	H30	R1	R2																																															
67	92	108	64	30																																															
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																														
生涯教育実習	33	54	78	82	76																																														
就業前実習	8	4	4	8	7																																														
気管挿管実習	2	4	2	2	6																																														
薬剤投与実習	6	1	2	6	7																																														
合計	49	63	86	98	96																																														

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。
	※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、東濃圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。
	※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。
	※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保	1 地域医療水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動（48件）や医療連携推進協議会の開催（4回）、連携病院（21施設）への訪問などを通じて、高度医療機器や開放型病床の共同利用の促進、医療連携の強化による紹介・逆紹介の確保に努めた。 東濃精神科医療連絡会は新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見送った。 東濃医学会学術集会は、新型コロナウイルス感染症の非常事態宣言下であったため、オンデマンド形式で開催した。（令和3年2月14日撮影、後日多治見市医師会のホームページに掲載。）当院からは6題の演題を発表した。 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保 <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院へ医師を派遣し診療支援を継続するとともに、土岐市立総合病院へは、循環器内科に加えて、新たに消化器内科医師の支援を行った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">派遣医療機関</th> <th style="width: 50%;">派遣状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td> <td>週1日（当直業務） 1人（6人で交代）</td> </tr> <tr> <td>土岐市立総合病院</td> <td>循環器内科 毎週木曜日 （2人で交代） 消化器内科 10月～3月 毎週木曜日 （2人で隔週交代） 消化器内科</td> </tr> </tbody> </table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務） 1人（6人で交代）	土岐市立総合病院	循環器内科 毎週木曜日 （2人で交代） 消化器内科 10月～3月 毎週木曜日 （2人で隔週交代） 消化器内科		IV	開業医、連携病院、訪問看護ステーションへの積極的な訪問、近隣病院の医師不足診療科に対して新たな支援を行うなど連携強化の取組を評価。
派遣医療機関	派遣状況										
国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務） 1人（6人で交代）										
土岐市立総合病院	循環器内科 毎週木曜日 （2人で交代） 消化器内科 10月～3月 毎週木曜日 （2人で隔週交代） 消化器内科										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																														
		<table border="1"> <tr> <td>10月～3月 毎週火曜日 (2人で隔週交代) 毎週金曜日(当直業務) 5月～3月 (7人で交代)</td> </tr> </table>	10月～3月 毎週火曜日 (2人で隔週交代) 毎週金曜日(当直業務) 5月～3月 (7人で交代)																																
10月～3月 毎週火曜日 (2人で隔週交代) 毎週金曜日(当直業務) 5月～3月 (7人で交代)																																			
11	※ 社会的な要請への協力	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の要請に応じ、新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養施設へ看護師を派遣し保健医療班業務を実施した(延46人)。 当院看護師が、大阪コロナ重症センターにおいて、新型コロナウイルス感染重症者への看護に従事し、当院としても派遣看護師に対する支援を行った(1人・1ヶ月)。 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。 <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>188</td> <td>222</td> <td>179</td> <td>201</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>33</td> <td>64</td> <td>55</td> <td>29</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>46</td> <td>65</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>239</td> <td>318</td> <td>280</td> <td>295</td> <td>168</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医師	188	222	179	201	106	看護師	33	64	55	29	40	コメディカル	18	32	46	65	22	合計	239	318	280	295	168		IV	新型コロナウイルス感染拡大に対応し宿泊療養施設等で業務を実施した実績を評価
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																														
医師	188	222	179	201	106																														
看護師	33	64	55	29	40																														
コメディカル	18	32	46	65	22																														
合計	239	318	280	295	168																														
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供		1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 <ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座、看護師等による健康づくり講座等を行った。健康づくり講座については、新型コロナウイルス感染拡大により3回の開催にとどまったが、保健医療情報の発信に努めた。 病院秋まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。 <p>【市民を対象とした公開講座、医療相談等開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>公開講座等名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.9.5</td> <td>市民公開講座 「生きること、死ぬこと、死者と共に生きること」</td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	公開講座等名	参加者	R2.9.5	市民公開講座 「生きること、死ぬこと、死者と共に生きること」	34人	III	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価																								
開催日	公開講座等名	参加者																																	
R2.9.5	市民公開講座 「生きること、死ぬこと、死者と共に生きること」	34人																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>講師：医療人類学者 磯野 真穂 氏</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年3回</td> <td>健康づくり講座 「感染症について」他</td> <td>68人</td> </tr> </table> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院広報誌「けんぴょういん」を年2回発行するとともに、地域情報誌への医療情報を提供し、積極的に医療に関する情報を発信した。 ・ 外来待合モニターでは、医療安全の啓発などの情報を発信した。 ・ 病院ホームページは、全面的に更新し、総務省のアクセシビリティ対応ガイドラインに準拠するとともに、利用しやすいものとした。【再掲：NO. 02】 		講師：医療人類学者 磯野 真穂 氏		年3回	健康づくり講座 「感染症について」他	68人		
	講師：医療人類学者 磯野 真穂 氏										
年3回	健康づくり講座 「感染症について」他	68人									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)、災害派遣精神医療チーム(以下「DPAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、食料及び飲料水の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 また、新中央診療棟の整備に合わせて、防災ヘリが離着陸可能なヘリポートを整備するとともに、水害に備えた施設、設備を整備すること。</p> <p>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMAT及びDPATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力をを行うこと。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画(BCP)の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受け入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制を整備するとともに、東濃地域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由									
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 災害拠点病院としての機能強化	1 医療救護活動の拠点機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制、災害医療体制、感染症患者受入態勢を維持するため、必要な施設設備の維持管理を行った。特に新型コロナウイルス感染拡大に対応して、必要な検査機器の整備、診察室の改修、空気清浄機の設置などを行った。 災害実働訓練は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止し、図上訓練とした。消防訓練については実施し、有事対応の機能を検証した。 新電子カルテシステムの「トリアージシステム」が稼働しており、救急救命センター（救急外来）で活用している。 <p>【災害訓練の実績】</p> <table border="1" data-bbox="544 616 1128 1094"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害実働訓練</td> <td>R3. 1. 15</td> <td>災害対策本部の総合調整機能を強化すべく、本部員および関係事務部門にて二次元展開法による被害への対応の優先順位決定訓練（図上）を実施した。</td> </tr> <tr> <td>消防訓練</td> <td>R3. 3. 23</td> <td>令和2年度新設の西立駐を火元と想定し、初動対応を行う職員にて現場への急行手順、消火器具の設置場所等を確認した。</td> </tr> </tbody> </table> 2 災害拠点病院としての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟の建設において、災害時、特に水害時に備え、地上に設置予定だったガスジェネレーションシステム（ガスによる自家発電装置）を屋上階に設置するよう変更し、防災機能を強化した設計内容へ見直しを行った。 井水浄化プラントのプロポーザルを実施し、仕様および業者を決定した。また、建設に向けて、井戸の掘削場所等の検討、関係機関との協議を進めた。 		開催日	備考	災害実働訓練	R3. 1. 15	災害対策本部の総合調整機能を強化すべく、本部員および関係事務部門にて二次元展開法による被害への対応の優先順位決定訓練（図上）を実施した。	消防訓練	R3. 3. 23	令和2年度新設の西立駐を火元と想定し、初動対応を行う職員にて現場への急行手順、消火器具の設置場所等を確認した。		IV	新型コロナウイルス感染拡大への対応、新中央診療棟設計見直しにより拠点機能を充実・強化した実績を評価
	開催日	備考												
災害実働訓練	R3. 1. 15	災害対策本部の総合調整機能を強化すべく、本部員および関係事務部門にて二次元展開法による被害への対応の優先順位決定訓練（図上）を実施した。												
消防訓練	R3. 3. 23	令和2年度新設の西立駐を火元と想定し、初動対応を行う職員にて現場への急行手順、消火器具の設置場所等を確認した。												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2 年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 DMA T及びDPATの質の向上と維持 2 大規模災害発生時のDMA T及びDPATの派遣		1 DMA Tの質の向上と維持 ・ DMA Tについては、2チームを編成し、災害派遣精神医療チーム (DPAT : Disaster Psychiatric Assistance Team) については、医師2名を指定するとともに1チームを編成して応援体制を維持した。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大により、技能維持訓練は中止としたが、ポータブルのモニターを新たに導入し、使用方法等の勉強会を実施するなど質の向上に努めた。 2 大規模災害発生時のDMA Tの派遣 ・ 派遣実績はないものの、常時、派遣の体制を維持した。	III	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価						
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理	2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 ・ 診療情報は、遠隔地でバックアップし、非常時に活用できる体制を維持した。また、SS-MIXの情報を、院内のネットワークがダウンした場合であっても閲覧できるよう各病棟に専用端末を設置した。	1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 ・ 災害発生時のマニュアル類をBCPに基づいた内容に更新し、準備態勢の充実を図った。	IV	SS-MIX専用端末を各病棟に設置し、被災時の機能維持に取り組んでいる実績を評価						
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・ COVID-19対策チームを結成し、対応マニュアル作成や必要な物資、資材の備蓄等を実施した。また、電子カルテの表示、メール等を活用しながら職員へ周知および体制を整備した。 ・ 新型コロナウイルス感染防止対策のためのラウンドを実施するとともに、定期的に職員向け「ストップ!コロナ通信」を発行し、感染防止の意識を高めている。【再掲: No. 01】 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に際して、他施設、開業医へ情報共有やゾーニング等の感染対策の支援を実施した。 ・ 地域連携加算施設間カンファレンスを定期的に開催し、情報交	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・ 新型インフルエンザ等が発生した場合に受入れを行う病棟職員を対象に個人防護具の着脱訓練を実施した。 <table border="1" data-bbox="1193 1153 1780 1252"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象者</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2. 11. 21</td> <td>感染症病床看護師</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	対象者	参加人数	R2. 11. 21	感染症病床看護師	15	IV	新型コロナウイルス感染拡大に際し、感染指定医療機関として対応を評価
実施日	対象者	参加人数									
R2. 11. 21	感染症病床看護師	15									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		換を行った。 ・ 基幹病院としての機能を維持するため、職員への新型コロナウイルスワクチン接種を計画的に実施した。			

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期 目標	<p>2-1 効率的な業務運営体制の確立 自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 組織体制の充実 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ICT（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。 ※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。 また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。 ※ 人事評価システムの構築 人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事評価制度の運用に努めること。 ※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。 ※ コンプライアンス（法令や倫理の遵守）の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。 ※ 適切な情報管理 職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
17	※ 組織体制の充実 1 組織体制の充実 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 3 ICT (情報通信技術) の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実	1 組織体制の充実 ・ 地域の医療需要に対応し10月に児童精神科外来を開設。診察実績は延べ75件となった。【再掲: No.03】 ・ 医療機器の整備を新中央診療棟整備も見据えて計画的、効率的に実施するため医療機器整備室を設置するとともに、医療機器整備調整監を配置した。 3 ICT (情報通信技術) の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 ・ 床頭台に付随した医療看護用ピクトグラムモニター (タブレット端末) システムが稼働し、看護業務に活用されている。 ・ AI画像診断の導入については、経費面に加え、異常があった場合の通知方法など電子カルテシステムやPACSとの連携についても、課題が明らかとなったため、さらに検討していく必要がある。また、AI問診システムについては、導入に向けた環境を整備した。【再掲: No. 1】 ・ Web会議システムを、入退院支援、様々な連携会議、各種学会、委託業者や地域調剤薬局との会議等の他、院内の会議、委員会、病棟会等で広く活用し、効率的な業務運営を行った。【再掲: No. 1】	2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 ・ 委託業務は、単価契約を中心に仕様等を見直し、価格の低減につなげた。また、平成27年度より委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、業務の改善・向上に努めている。 ・ 新人事給与システムは、運用テストやインフラ整備を進め、令和3年4月の稼働開始とした。	IV	組織体制の充実、ピクトグラム付き床頭台の活用が進んでいることを評価。
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 ・ 看護師の業務負担軽減のため、新たに介護福祉士3名を採用し、病棟に配置した。【再掲: No.03】 2 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師事務作業補助者5名、看護助手7名、介護福祉士3名の人員を確保し、医師等の負担軽減を図った。 ・ 医師事務作業補助者については、人員配置の見直しにより各診療科フォロー体制の充実を図った。	III	柔軟な職員配置、採用による医師、看護師の負担軽減に一定の成果は得られたが、項目全体としては、平年並みと評価
19	※ 人事評価システムの運用		1 人事評価システムの運用 ・ 引き続き目標管理と連動した人事評価制度を活用し、公正	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
	1 人事評価システムの運用		で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。		と評価						
20	※ 事務部門の専門性の向上 1 事務部門職員の確保及び育成		<p>1 事務部門職員の確保及び育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務部門の専門性の向上を図るため診療情報管理士、医療経営士の資格取得を支援しており、4名が診療情報管理士の講座を受講した。 DPCコーディング業務の職員化を進めており、能力向上に努めた。 <p>【新規採用職員の主な研修】</p> <ol style="list-style-type: none"> マナー・コミュニケーション研修 新入社員研修Web 講座 マナー・コミュニケーション フォローアップ研修 <p>【階層別マネジメント研修】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送り。</p>	III	継続的な取組が実施できているが、 平年並みの実績 と評価						
21	※ コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底 1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底		<p>1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 監事監査や内部監査による確認指導により、適正な業務執行の確認体制を維持している。 新規採用職員に対するコンプライアンス研修を実施し、当院の職員としての意識啓発及び周知徹底を行った。 職員相談支援室より、ハラスメント対策の一環として、院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行した。 <p>【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2. 4. 1</td> <td>講師：人事厚生課長</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	R2. 4. 1	講師：人事厚生課長	85	III	継続的な取組が実施できているが、 平年並みの実績 と評価
開催期間	講師・開催回数	参加者									
R2. 4. 1	講師：人事厚生課長	85									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
22	※ 適切な情報管理 1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 2 情報セキュリティに対する意識向上		1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・ 情報漏洩対策として、Eメールの誤送信対策システムを導入した。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大によりWeb会議の機会が増えており、機材の準備、操作においてシステム管理担当が積極的に関与し、セキュリティを確保している。 2 情報セキュリティに対する意識向上 ・ 職務上必要のない患者情報の閲覧や私物USBメモリ・メモ리카ード使用等に対する注意喚起（通知の発出）、また、グループウェアの掲示板などを通じて情報セキュリティの意識向上を図っている。 ・ 新規採用職員に対する情報セキュリティに関する研修を実施し、当院の職員としての意識啓発及び周知徹底を行った。	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。 ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																							
23	※ 多様な契約手法の導入 1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施		1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施効率化及び適正な契約事務の実施 ・ 施設管理業務委託について、複数の包括契約により、業務間の連携や効率化を図った。 ・ 政府調達の対象案件となる「新中央診療棟第一期工事」について、制度に則った適正な競争入札を実施できるよう参加要件等の検討を行った。 ・ 引き続き病院経営コンサルタントを活用した。コンサルタントを交えて医薬品メーカーやディーラーと交渉し、契約方法や費用の妥当性の検討を行った。 ・ 高額医療機器については、見積時にメンテナンス費用、移設費用の見積を合わせて取得し総合的に対象機種選定を行った。また複数メーカーによる競争を促し、適正な価格で購入できるよう入札等を実施した。 ・ ベンチマーク（全国の医療機関の購入価格を参照できるシステム）を利用し、医療機器、診療材料の他施設での納入価格を参考にメーカーとの価格交渉を行った。	III	継続的な取組が実施できているが、 <u>平年並みの実績と評価</u>																																																							
24	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 2 未収金の発生防止対策等 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 ・ 開業医への訪問活動に、診療科の医師も同行し紹介患者獲得や高度医療機器の共同利用の促進に努めた。 ・ 近隣の病院や施設等への訪問などで連携を強化し、円滑な退院および入院調整に努め、DPCⅡの期間を超えた入院患者及び期間超えの患者数が昨年度と比較し減少した。 ・ 第2四半期までの診療科別原価計算分析を実施。分析により得られた改善点等については、診療科への提供に向け、検討を行った。 【病床管理状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,886</td> <td>14,498</td> <td>14,781</td> <td>14,654</td> </tr> <tr> <td>延入院患者(単位:人)</td> <td>172,398</td> <td>176,770</td> <td>167,723</td> <td>165,889</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>全体</td> <td>11.4</td> <td>11.2</td> <td>10.4</td> <td>10.3</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H28	H29	H30	R1	新規入院患者(単位:人)	13,886	14,498	14,781	14,654	延入院患者(単位:人)	172,398	176,770	167,723	165,889	平均在院日数	全体	11.4	11.2	10.4	10.3	2 未収金の発生防止対策等 ・ 医療相談担当と医事担当との連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入を行った。 ・ 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。 【未収金の発生状況】 (各年度末時点※) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>422</td> <td>29,625</td> <td>315</td> <td>30,815</td> <td>279</td> <td>26,132</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>582</td> <td>22,760</td> <td>487</td> <td>22,584</td> <td>314</td> <td>19,910</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,004</td> <td>52,385</td> <td>802</td> <td>53,399</td> <td>593</td> <td>46,042</td> </tr> </tbody> </table> ※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く		H28		H29		H30		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132	現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910	合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042	III	継続的な取組が実施できているが、 <u>十分な医業収入の確保には繋がっておらず、平年並みの実績と評価</u>
項目\年度	H28	H29	H30	R1																																																								
新規入院患者(単位:人)	13,886	14,498	14,781	14,654																																																								
延入院患者(単位:人)	172,398	176,770	167,723	165,889																																																								
平均在院日数	全体	11.4	11.2	10.4	10.3																																																							
	H28		H29		H30																																																							
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)																																																						
過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132																																																						
現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910																																																						
合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																											
		<table border="1"> <tr> <td>(単位：日)</td> <td>一般</td> <td>10.8</td> <td>10.6</td> <td>9.9</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td>一人当たり入院単価</td> <td>全体</td> <td>65,152</td> <td>66,161</td> <td>71,328</td> <td>71,960</td> </tr> <tr> <td>(単位：円)</td> <td>一般</td> <td>67,672</td> <td>68,689</td> <td>73,681</td> <td>74,227</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位：人)</td> <td>13,123</td> </tr> <tr> <td>延入院患者(単位：人)</td> <td>148,961</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>全体 10.4</td> </tr> <tr> <td>(単位：日)</td> <td>一般 10.1</td> </tr> <tr> <td>一人当たり入院単価</td> <td>全体 76,556</td> </tr> <tr> <td>(単位：円)</td> <td>一般 78,616</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,119</td> <td>1,115</td> <td>1,139</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td>(単位：人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価</td> <td>16,990</td> <td>17,575</td> <td>18,207</td> <td>19,638</td> </tr> <tr> <td>(単位：円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,015</td> </tr> <tr> <td>(単位：人)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価</td> <td>21,851</td> </tr> <tr> <td>(単位：円)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(単位：日)	一般	10.8	10.6	9.9	9.9	一人当たり入院単価	全体	65,152	66,161	71,328	71,960	(単位：円)	一般	67,672	68,689	73,681	74,227	項目\年度	R2	新規入院患者(単位：人)	13,123	延入院患者(単位：人)	148,961	平均在院日数	全体 10.4	(単位：日)	一般 10.1	一人当たり入院単価	全体 76,556	(単位：円)	一般 78,616	項目\年度	H28	H29	H30	R1	一日当たり外来患者数	1,119	1,115	1,139	1,128	(単位：人)					一人当たり外来単価	16,990	17,575	18,207	19,638	(単位：円)					項目\年度	R2	一日当たり外来患者数	1,015	(単位：人)		一人当たり外来単価	21,851	(単位：円)		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>281</td> <td>21,386</td> <td>317</td> <td>22,013</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>511</td> <td>22,485</td> <td>518</td> <td>23,564</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>792</td> <td>43,871</td> <td>835</td> <td>45,577</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DPC特定病院群維持のため、診療報酬委員会を中心に診療密度の向上やDPC入院期間Ⅱまでの退院推進に取り組んだ。 ・ 各部門と連携を図り、施設基準の要件や届出等の手続きに遺漏ないよう、常に確認を行った。 		R1		R2		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	過年分	281	21,386	317	22,013	現年分	511	22,485	518	23,564	合計	792	43,871	835	45,577		
(単位：日)	一般	10.8	10.6	9.9	9.9																																																																																											
一人当たり入院単価	全体	65,152	66,161	71,328	71,960																																																																																											
(単位：円)	一般	67,672	68,689	73,681	74,227																																																																																											
項目\年度	R2																																																																																															
新規入院患者(単位：人)	13,123																																																																																															
延入院患者(単位：人)	148,961																																																																																															
平均在院日数	全体 10.4																																																																																															
(単位：日)	一般 10.1																																																																																															
一人当たり入院単価	全体 76,556																																																																																															
(単位：円)	一般 78,616																																																																																															
項目\年度	H28	H29	H30	R1																																																																																												
一日当たり外来患者数	1,119	1,115	1,139	1,128																																																																																												
(単位：人)																																																																																																
一人当たり外来単価	16,990	17,575	18,207	19,638																																																																																												
(単位：円)																																																																																																
項目\年度	R2																																																																																															
一日当たり外来患者数	1,015																																																																																															
(単位：人)																																																																																																
一人当たり外来単価	21,851																																																																																															
(単位：円)																																																																																																
	R1		R2																																																																																													
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)																																																																																												
過年分	281	21,386	317	22,013																																																																																												
現年分	511	22,485	518	23,564																																																																																												
合計	792	43,871	835	45,577																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																									
25	※ 費用の削減 1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 2 後発医薬品の使用促進	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び在庫管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> バーコード読み取りシステム内に期限を落とし込み、物品の使用期限管理するシステムを稼働させ、在庫管理の徹底を図った。 医療コンサルタントやベンチマークシステムを活用し、医薬品及び診療材料にかかる費用の節減に努めた。 ※削減額（年間予定数量ベース） <ul style="list-style-type: none"> 薬品費 : 約4,200万円 診療材料 約780万円 【医薬収益に対する材料費比率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>16.10</td> <td>15.91</td> <td>16.11</td> <td>17.77</td> <td>18.5</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>9.73</td> <td>10.34</td> <td>11.09</td> <td>10.73</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>材料費全体</td> <td>26.39</td> <td>26.32</td> <td>27.26</td> <td>28.58</td> <td>29.5</td> </tr> </tbody> </table> 【薬品費及び診療材料費】 単位：千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,619,397</td> <td>2,689,702</td> <td>2,812,655</td> <td>3,153,092</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,582,848</td> <td>1,747,406</td> <td>1,935,321</td> <td>1,903,765</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>3,142,369</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,850,991</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	薬品費	16.10	15.91	16.11	17.77	18.5	診療材料費	9.73	10.34	11.09	10.73	10.9	材料費全体	26.39	26.32	27.26	28.58	29.5	区分\年度	H28	H29	H30	R1	薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	3,153,092	診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	1,903,765	区分\年度	R2	薬品費	3,142,369	診療材料費	1,850,991	2 後発医薬品の使用促進 <ul style="list-style-type: none"> 医薬品納入業者に採用薬品に対する後発医薬品の提案を求め、実質的な薬品費削減効果も考慮しながら、薬剤部主導で後発品の切り替え等を行った。 【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量ベース</td> <td>89.55</td> <td>93.05</td> <td>88.11</td> <td>91.89</td> <td>89.89</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	数量ベース	89.55	93.05	88.11	91.89	89.89	III	医薬品・材料費の節減等、継続的な取組が実施できているが、材料費比率の改善には繋がっておらず、平年並みの実績と評価
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																									
薬品費	16.10	15.91	16.11	17.77	18.5																																																									
診療材料費	9.73	10.34	11.09	10.73	10.9																																																									
材料費全体	26.39	26.32	27.26	28.58	29.5																																																									
区分\年度	H28	H29	H30	R1																																																										
薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	3,153,092																																																										
診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	1,903,765																																																										
区分\年度	R2																																																													
薬品費	3,142,369																																																													
診療材料費	1,850,991																																																													
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																									
数量ベース	89.55	93.05	88.11	91.89	89.89																																																									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 医療収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医療収益比率 職員給与費対医療収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値を参考に、適切な目標を定め達成すること。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																												
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益の減、給与費の増により、経常収支比率97.1%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>100.7</td> <td>102.0</td> <td>100.2</td> <td>95.5</td> <td>97.1</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.7</td> <td>51.0</td> <td>52.5</td> <td>54.4</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	経常収支	100.7	102.0	100.2	95.5	97.1	職員給与費	51.7	51.0	52.5	54.4	58.0	II	2年連続の赤字を計上した。																																																																																										
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																												
経常収支	100.7	102.0	100.2	95.5	97.1																																																																																																												
職員給与費	51.7	51.0	52.5	54.4	58.0																																																																																																												
	<p>1 予算</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>19,626</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>18,454</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,127</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>367</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>344</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>757</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>446</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>20,750</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>18,966</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>18,374</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>9,570</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>5,599</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,144</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>421</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>1,447</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	19,626	医業収益	18,454	運営費負担金収益	1,127	その他営業収益	45	営業外収益	367	運営費負担金収益	23	その他営業外収益	344	資本収入	757	長期借入金	446	運営費負担金	286	その他資本収入	25	その他の収入	0	計	20,750	支出		営業費用	18,966	医業費用	18,374	給与費	9,570	材料費	5,599	経費	3,144	研究研修費	61	一般管理費	592	給与費	421	経費	171	営業外費用	45	資本支出	1,447		<p>1 決算</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>21,303</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>18,729</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,182</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>1,391</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>727</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>22,164</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>18,469</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>17,775</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>9,181</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>5,502</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,057</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>694</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>1,412</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	21,303	医業収益	18,729	運営費負担金収益	1,182	その他営業収益	1,391	営業外収益	80	運営費負担金収益	13	その他営業外収益	67	資本収入	727	長期借入金	199	運営費負担金	300	その他資本収入	228	その他の収入	54	計	22,164	支出		営業費用	18,469	医業費用	17,775	給与費	9,181	材料費	5,502	経費	3,057	研究研修費	35	一般管理費	694	給与費	468	経費	226	営業外費用	81	資本支出	1,412		
区 分	金 額																																																																																																																
収入																																																																																																																	
営業収益	19,626																																																																																																																
医業収益	18,454																																																																																																																
運営費負担金収益	1,127																																																																																																																
その他営業収益	45																																																																																																																
営業外収益	367																																																																																																																
運営費負担金収益	23																																																																																																																
その他営業外収益	344																																																																																																																
資本収入	757																																																																																																																
長期借入金	446																																																																																																																
運営費負担金	286																																																																																																																
その他資本収入	25																																																																																																																
その他の収入	0																																																																																																																
計	20,750																																																																																																																
支出																																																																																																																	
営業費用	18,966																																																																																																																
医業費用	18,374																																																																																																																
給与費	9,570																																																																																																																
材料費	5,599																																																																																																																
経費	3,144																																																																																																																
研究研修費	61																																																																																																																
一般管理費	592																																																																																																																
給与費	421																																																																																																																
経費	171																																																																																																																
営業外費用	45																																																																																																																
資本支出	1,447																																																																																																																
区 分	金 額																																																																																																																
収入																																																																																																																	
営業収益	21,303																																																																																																																
医業収益	18,729																																																																																																																
運営費負担金収益	1,182																																																																																																																
その他営業収益	1,391																																																																																																																
営業外収益	80																																																																																																																
運営費負担金収益	13																																																																																																																
その他営業外収益	67																																																																																																																
資本収入	727																																																																																																																
長期借入金	199																																																																																																																
運営費負担金	300																																																																																																																
その他資本収入	228																																																																																																																
その他の収入	54																																																																																																																
計	22,164																																																																																																																
支出																																																																																																																	
営業費用	18,469																																																																																																																
医業費用	17,775																																																																																																																
給与費	9,181																																																																																																																
材料費	5,502																																																																																																																
経費	3,057																																																																																																																
研究研修費	35																																																																																																																
一般管理費	694																																																																																																																
給与費	468																																																																																																																
経費	226																																																																																																																
営業外費用	81																																																																																																																
資本支出	1,412																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																				
	<table border="1"> <tr><td>建設改良費</td><td>873</td></tr> <tr><td>償還金</td><td>499</td></tr> <tr><td>その他資本支出</td><td>75</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,458</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	建設改良費	873	償還金	499	その他資本支出	75	その他の支出	0	計	20,458		<table border="1"> <tr><td>建設改良費</td><td>810</td></tr> <tr><td>償還金</td><td>548</td></tr> <tr><td>その他資本支出</td><td>54</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>53</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,015</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	建設改良費	810	償還金	548	その他資本支出	54	その他の支出	53	計	20,015																																																																																																		
建設改良費	873																																																																																																																								
償還金	499																																																																																																																								
その他資本支出	75																																																																																																																								
その他の支出	0																																																																																																																								
計	20,458																																																																																																																								
建設改良費	810																																																																																																																								
償還金	548																																																																																																																								
その他資本支出	54																																																																																																																								
その他の支出	53																																																																																																																								
計	20,015																																																																																																																								
	<p>2 収支計画</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>19,929</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>19,589</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>18,412</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,127</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>44</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>340</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>23</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>317</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,429</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,573</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>18,972</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,497</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,090</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,881</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,448</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>56</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>601</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>417</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>28</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>156</td></tr> <tr><td> 営業外費用</td><td>856</td></tr> <tr><td> 臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純損失</td><td>▲500</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総損失</td><td>▲500</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	金 額	収益の部	19,929	営業収益	19,589	医業収益	18,412	運営費負担金収益	1,127	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	44	営業外収益	340	運営費負担金収益	23	その他営業外収益	317	臨時利益	0	費用の部	20,429	営業費用	19,573	医業費用	18,972	給与費	9,497	材料費	5,090	経費	2,881	減価償却費	1,448	研究研修費	56	一般管理費	601	給与費	417	減価償却費	28	経費	156	営業外費用	856	臨時損失	0	予備費	0	純損失	▲500	目的積立金取崩額	0	総損失	▲500		<p>2 収支計画に対する実績</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>19,690</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>19,522</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>16,955</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,171</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>1,390</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>84</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>22</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>62</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>84</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,248</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,227</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>18,571</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,359</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,008</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,817</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,356</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>31</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>656</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>475</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>31</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>150</td></tr> <tr><td> 営業外費用</td><td>968</td></tr> <tr><td> 臨時損失</td><td>53</td></tr> <tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純損失</td><td>▲558</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総損失</td><td>▲558</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区 分	金 額	収益の部	19,690	営業収益	19,522	医業収益	16,955	運営費負担金収益	1,171	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	1,390	営業外収益	84	運営費負担金収益	22	その他営業外収益	62	臨時利益	84	費用の部	20,248	営業費用	19,227	医業費用	18,571	給与費	9,359	材料費	5,008	経費	2,817	減価償却費	1,356	研究研修費	31	一般管理費	656	給与費	475	減価償却費	31	経費	150	営業外費用	968	臨時損失	53	予備費	0	純損失	▲558	目的積立金取崩額	0	総損失	▲558		
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	19,929																																																																																																																								
営業収益	19,589																																																																																																																								
医業収益	18,412																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,127																																																																																																																								
資産見返負債戻入	6																																																																																																																								
その他営業収益	44																																																																																																																								
営業外収益	340																																																																																																																								
運営費負担金収益	23																																																																																																																								
その他営業外収益	317																																																																																																																								
臨時利益	0																																																																																																																								
費用の部	20,429																																																																																																																								
営業費用	19,573																																																																																																																								
医業費用	18,972																																																																																																																								
給与費	9,497																																																																																																																								
材料費	5,090																																																																																																																								
経費	2,881																																																																																																																								
減価償却費	1,448																																																																																																																								
研究研修費	56																																																																																																																								
一般管理費	601																																																																																																																								
給与費	417																																																																																																																								
減価償却費	28																																																																																																																								
経費	156																																																																																																																								
営業外費用	856																																																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純損失	▲500																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総損失	▲500																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	19,690																																																																																																																								
営業収益	19,522																																																																																																																								
医業収益	16,955																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,171																																																																																																																								
資産見返負債戻入	6																																																																																																																								
その他営業収益	1,390																																																																																																																								
営業外収益	84																																																																																																																								
運営費負担金収益	22																																																																																																																								
その他営業外収益	62																																																																																																																								
臨時利益	84																																																																																																																								
費用の部	20,248																																																																																																																								
営業費用	19,227																																																																																																																								
医業費用	18,571																																																																																																																								
給与費	9,359																																																																																																																								
材料費	5,008																																																																																																																								
経費	2,817																																																																																																																								
減価償却費	1,356																																																																																																																								
研究研修費	31																																																																																																																								
一般管理費	656																																																																																																																								
給与費	475																																																																																																																								
減価償却費	31																																																																																																																								
経費	150																																																																																																																								
営業外費用	968																																																																																																																								
臨時損失	53																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純損失	▲558																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総損失	▲558																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	3 資金計画 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>29,976</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>19,993</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>18,454</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による収入</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>712</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>446</td> </tr> <tr> <td> その他の財務活動による収入</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td> 前事業年度からの繰越金</td> <td>9,226</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>29,976</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>19,011</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>8,014</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>5,599</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>5,398</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>948</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>873</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金の返済による支出</td> <td>332</td> </tr> <tr> <td> 移前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 翌事業年度への繰越金</td> <td>9,518</td> </tr> </tbody> </table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	29,976	業務活動による収入	19,993	診療業務による収入	18,454	運営費負担金による収入	1,150	その他の業務活動による収入	389	投資活動による収入	45	運営費負担金による収入	20	その他の投資活動による収入	25	財務活動による収入	712	長期借入による収入	446	その他の財務活動による収入	266	前事業年度からの繰越金	9,226	資金支出	29,976	業務活動による支出	19,011	給与費支出	8,014	材料費支出	5,599	その他の業務活動による支出	5,398	投資活動による支出	948	有形固定資産の取得による支出	873	その他の投資活動による支出	75	財務活動による支出	499	長期借入金の返済による支出	332	移前地方債償還債務の償還による支出	167	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	9,518		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>29,852</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>19,553</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>16,833</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,195</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>1,525</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による収入</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td> その他の財務活動による収入</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td> 前事業年度からの繰越金</td> <td>9,721</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>29,852</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>18,821</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>7,844</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>5,402</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>5,575</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>929</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>908</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金の返済による支出</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td> 移前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> 翌事業年度への繰越金</td> <td>9,554</td> </tr> </tbody> </table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	29,852	業務活動による収入	19,553	診療業務による収入	16,833	運営費負担金による収入	1,195	その他の業務活動による収入	1,525	投資活動による収入	99	運営費負担金による収入	20	その他の投資活動による収入	79	財務活動による収入	479	長期借入による収入	199	その他の財務活動による収入	280	前事業年度からの繰越金	9,721	資金支出	29,852	業務活動による支出	18,821	給与費支出	7,844	材料費支出	5,402	その他の業務活動による支出	5,575	投資活動による支出	929	有形固定資産の取得による支出	908	その他の投資活動による支出	21	財務活動による支出	548	長期借入金の返済による支出	361	移前地方債償還債務の償還による支出	167	その他財務活動による支出	20	翌事業年度への繰越金	9,554		
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	29,976																																																																																																												
業務活動による収入	19,993																																																																																																												
診療業務による収入	18,454																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,150																																																																																																												
その他の業務活動による収入	389																																																																																																												
投資活動による収入	45																																																																																																												
運営費負担金による収入	20																																																																																																												
その他の投資活動による収入	25																																																																																																												
財務活動による収入	712																																																																																																												
長期借入による収入	446																																																																																																												
その他の財務活動による収入	266																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	9,226																																																																																																												
資金支出	29,976																																																																																																												
業務活動による支出	19,011																																																																																																												
給与費支出	8,014																																																																																																												
材料費支出	5,599																																																																																																												
その他の業務活動による支出	5,398																																																																																																												
投資活動による支出	948																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	873																																																																																																												
その他の投資活動による支出	75																																																																																																												
財務活動による支出	499																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	332																																																																																																												
移前地方債償還債務の償還による支出	167																																																																																																												
その他財務活動による支出	0																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	9,518																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	29,852																																																																																																												
業務活動による収入	19,553																																																																																																												
診療業務による収入	16,833																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,195																																																																																																												
その他の業務活動による収入	1,525																																																																																																												
投資活動による収入	99																																																																																																												
運営費負担金による収入	20																																																																																																												
その他の投資活動による収入	79																																																																																																												
財務活動による収入	479																																																																																																												
長期借入による収入	199																																																																																																												
その他の財務活動による収入	280																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	9,721																																																																																																												
資金支出	29,852																																																																																																												
業務活動による支出	18,821																																																																																																												
給与費支出	7,844																																																																																																												
材料費支出	5,402																																																																																																												
その他の業務活動による支出	5,575																																																																																																												
投資活動による支出	929																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	908																																																																																																												
その他の投資活動による支出	21																																																																																																												
財務活動による支出	548																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	361																																																																																																												
移前地方債償還債務の償還による支出	167																																																																																																												
その他財務活動による支出	20																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	9,554																																																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理由 ・ 実績なし	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
—	※ 剰余金の使途		・該当なし	—	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。			
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。			
	8-3 施設・医療機器の整備	新中央診療棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案し、岐阜県立多治見病院として担うべき機能の強化が図られるよう、計画的に実施すること。			
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。			
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。			

項目No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																												
27	※ 職員の就労環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 2 働き方改革の実現に向けた取組 3 職員のモチベーション向上に資する取組	2 働き方改革の実現に向けた取組 ・ 働き方改革会議において病院全体及び一人ひとりの時間外勤務の状況を把握し、長時間労働該当者及び年休取得5日未満該当者の所属長に対して注意喚起を行った。 ・ サーマルカメラを利用した顔認証による入室管理システムを導入した。また、時間外勤務対策に繋げるため、同システムを活用した勤怠管理の方法について検討した。 ・ 前定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行う等、健康管理対策の充実に努めた。 【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	R1	R2	10	15	13	7	8	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ・ 職員募集や再雇用制度の活用により職員数を確保し、就労環境の向上に努めた。 ・ 職員相談支援室においては、職員のワークライフバランスや各種ハラスメント等の相談（380件）に対応するとともに、定期的に院内広報誌「土岐川のしらべ」を発行し、相談機能の充実に努めた。 【有給休暇取得率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>27.5</td> <td>25.9</td> <td>25.5</td> <td>44.4</td> <td>43.9</td> </tr> <tr> <td>特別休暇</td> <td>87.6</td> <td>83.9</td> <td>90.4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> ※R1年度に特別休暇（WLB休暇）を年次休暇に加算	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	年次休暇	27.5	25.9	25.5	44.4	43.9	特別休暇	87.6	83.9	90.4	-	-	IV	新型コロナウイルス感染対策として各種手当を新設し、就労環境の向上に向けた取り組みを評価
H28	H29	H30	R1	R2																													
10	15	13	7	8																													
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
年次休暇	27.5	25.9	25.5	44.4	43.9																												
特別休暇	87.6	83.9	90.4	-	-																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																				
		<p>【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78</td> <td>92</td> <td>117</td> <td>110</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。</p> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>39</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当、ワクチン接種にかかる特別休暇を新設するなど、モチベーション維持に努めた。また、モチベーションアップのための意見募集を行い、提案内容を院内に紹介した。 職員食堂における特別メニュー、イベントメニューを企画するなどメニューの充実、職員提案による「自動血圧計」の職員ラウンジへの設置など、ニーズの把握に努めながら、福利厚生を充実を図った。 	H28	H29	H30	R1	R2	78	92	117	110	—	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	利用者数	27	29	35	32	39	40	<p>【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td> <td>43</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	43	37	37	38	42	37	病棟事務補助者 (看護クラーク)	12	11	16	16	19	18	合計	55	48	53	54	61	55		
H28	H29	H30	R1	R2																																																					
78	92	117	110	—																																																					
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																			
利用者数	27	29	35	32	39	40																																																			
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																			
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	43	37	37	38	42	37																																																			
病棟事務補助者 (看護クラーク)	12	11	16	16	19	18																																																			
合計	55	48	53	54	61	55																																																			
28	<p>※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項</p> <p>1 県との連携・強化</p> <p>2 他の地方独立行政法人との連携・強化</p>		<p>1 県との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備事業について、県の関係課から法規制、発注業務に関して指導助言を受けるとともに、県へ適時、進捗状況を報告した。 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。【再掲：No.09】 <p>2 他の地方独立行政法人との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の地方独立行政法人病院との連携による新人事給与システムは、運用テストやインフラ整備を進め、令和3年4月稼働開始とした。【再掲：No.17】 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
29	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 2 医療機器の計画的な更新・整備	1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 ・ 令和2年度内に予定していた新中央診療棟整備第一期工事の発注手続きは、新型コロナウイルス感染拡大による経営状況等への影響を見極めるため、一時延期とし、設計の一部見直しに着手した。関連する既存棟（東病棟）の一部先行工事については発注した。 ・ 8月25日に西側立体駐車場の完成・引き渡しを受け、同月28日から供用を開始した。翌9月から東側立体駐車場の工事に着工した。令和3年5月末の完成・引き渡しの見込み。 ・ 病院前市道については、新中央診療棟開院までに段階的に整備する。令和2年度は病院前信号交差点から約80mの区間に歩道を設置する計画としていたが、隣接地で施工中の東側立体駐車場建設工事に影響が出るため、施工時期を次年度へ繰り越した。 2 医療機器の計画的な更新・整備 ・ 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画を策定した。 ・ 過剰な整備とならないよう、臨床工学技士と連携し、機器整備の必要性・妥当性を確認したうえで購入機器を決定するとともに、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図った。 ・ 新型コロナウイルス緊急支援交付金を活用し必要な医療機器整備を行った。		IV	新中央診療棟整備に向け、関連事業も含め、着実に遂行していることを評価。																								
		(単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>246</td> <td>177</td> <td>183</td> <td>260</td> <td>562</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>370</td> <td>38</td> <td>306</td> <td>115</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>616</td> <td>215</td> <td>489</td> <td>375</td> <td>663</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2	医療機器等整備	246	177	183	260	562	施設等整備	370	38	306	115	101	合計	616	215	489	375	663			
区分\年度	H28	H29	H30	R1	R2																								
医療機器等整備	246	177	183	260	562																								
施設等整備	370	38	306	115	101																								
合計	616	215	489	375	663																								
30	※ 内部統制の充実強化 1 内部統制の取組 2 内部統制に対する監査及び評価 3 災害等危機管理事案発生	1 内部統制の取組 ・ 昨年度に整備した内部統制の継続的な運営に取り組み、リスク管理委員会を7月と3月に開催、内部統制委員会を8月に開催した。 ・ リスクを有すると仮定した「給与関連事務」、「購買事務の業務」プロセスに携わる担当者へのヒアリングを実施し、想定されるリスクの抽出とその対応方法の検討を行った。	2 内部統制に対する監査及び評価 ・ 8月に開催した内部統制委員会において、昨年度の取組内容について説明をするとともに、令和2年度の取組内容について説明を行った。 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・ 1月に実施した災害訓練では、理事長を中心とした災害対策本部の総合調整機能の強化に特化した訓練を実施した。 ・ 災害発生時のマニュアル類をBCPに基づいた内容に更新し、	III	昨年度からの取組をさらに進めたが、監査及び評価の手法などには課題もあり、年度計画を上回るものと評価できない																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																
	時における理事長の統制環境の充実強化		準備態勢の充実を図った。【再掲：No.15】																																		
31	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<p>・ 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。</p> <p>【企業債償還額（元本）】（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>償還月</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>527</td> </tr> </tbody> </table> <p>【債務の償還状況（合計）】（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,603</td> </tr> <tr> <td>第2期中期計画期間計</td> <td>2,634</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>527</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>第2期中期計画期間計</td> <td>1,485</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期借入金償還額（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>第2期中期計画期間計</td> <td>1,149</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>167</td> </tr> </tbody> </table>	償還月	金額	9月	263	3月	264	計	527	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,603	第2期中期計画期間計	2,634	R 2	527	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,211	第2期中期計画期間計	1,485	R 2	360	年度	実績	第1期中期計画期間計	392	第2期中期計画期間計	1,149	R 2	167	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金額																																				
9月	263																																				
3月	264																																				
計	527																																				
年度	実績																																				
第1期中期計画期間計	3,603																																				
第2期中期計画期間計	2,634																																				
R 2	527																																				
年度	実績																																				
第1期中期計画期間計	3,211																																				
第2期中期計画期間計	1,485																																				
R 2	360																																				
年度	実績																																				
第1期中期計画期間計	392																																				
第2期中期計画期間計	1,149																																				
R 2	167																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 2年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																
32	※ 中期目標の期間における主な計画数値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な目標・計画</th> <th>年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立体駐車場を建設し供用開始 ・西立体駐車場 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備</td> <td>9月に開設 10月に建設着工 年度内に建設工事を契約</td> </tr> <tr> <td>児童精神科外来の開設</td> <td>10月から診療開始</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(1日平均)</td> <td>新規入院 41.1人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数(1日平均)</td> <td>外来 1,080人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(年間)</td> <td>手術室 5,000件 中央放射線・内視鏡 2,980件</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療患者数(年間)</td> <td>495人</td> </tr> <tr> <td>DPC病床での入院期間 I・II以内の退院患者比率(年間)</td> <td>80.00%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(全病床・年間)</td> <td>85.8%(休床を除く病床数549床)</td> </tr> <tr> <td>紹介率・逆紹介率(年間)</td> <td>紹介率 79.0% 逆紹介率 90.5%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度(調査期間)</td> <td>外来 90.0% 入院 97.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(数量ベース)</td> <td>92.00%</td> </tr> </tbody> </table>	主な目標・計画	年度目標	立体駐車場を建設し供用開始 ・西立体駐車場 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	9月に開設 10月に建設着工 年度内に建設工事を契約	児童精神科外来の開設	10月から診療開始	入院患者数(1日平均)	新規入院 41.1人	外来患者数(1日平均)	外来 1,080人	手術件数(年間)	手術室 5,000件 中央放射線・内視鏡 2,980件	高精度放射線治療患者数(年間)	495人	DPC病床での入院期間 I・II以内の退院患者比率(年間)	80.00%	病床利用率(全病床・年間)	85.8%(休床を除く病床数549床)	紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 79.0% 逆紹介率 90.5%	患者満足度(調査期間)	外来 90.0% 入院 97.0%	後発医薬品使用率(数量ベース)	92.00%	計画数値に対する実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な目標・計画</th> <th>年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立体駐車場を建設し供用開始 ・西立体駐車場 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備</td> <td>8月25日供用開始 9月に建設着工 R2年度中の建設工事契約を見送り 10月から診療開始</td> </tr> <tr> <td>児童精神科外来の開設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入院患者数(1日平均)</td> <td>新規入院 36.0人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数(1日平均)</td> <td>外来 1,016人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(年間)</td> <td>手術室 4,185件 中央放射線・内視鏡 2,907件</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療患者数(年間)</td> <td>446人</td> </tr> <tr> <td>DPC病床での入院期間 I・II以内の退院患者比率(年間)</td> <td>78.3%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(全病床・年間)</td> <td>72.9%</td> </tr> <tr> <td>紹介率・逆紹介率(年間)</td> <td>紹介率 74.3% 逆紹介率 98.6%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度(調査期間)</td> <td>外来 85.0% 入院 95.3%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(数量ベース)</td> <td>89.89%</td> </tr> </tbody> </table>	主な目標・計画	年度実績	立体駐車場を建設し供用開始 ・西立体駐車場 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	8月25日供用開始 9月に建設着工 R2年度中の建設工事契約を見送り 10月から診療開始	児童精神科外来の開設		入院患者数(1日平均)	新規入院 36.0人	外来患者数(1日平均)	外来 1,016人	手術件数(年間)	手術室 4,185件 中央放射線・内視鏡 2,907件	高精度放射線治療患者数(年間)	446人	DPC病床での入院期間 I・II以内の退院患者比率(年間)	78.3%	病床利用率(全病床・年間)	72.9%	紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 74.3% 逆紹介率 98.6%	患者満足度(調査期間)	外来 85.0% 入院 95.3%	後発医薬品使用率(数量ベース)	89.89%	II	新型コロナウイルス感染拡大による運営環境の変化により、未達成項目が多数となった
主な目標・計画	年度目標																																																				
立体駐車場を建設し供用開始 ・西立体駐車場 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	9月に開設 10月に建設着工 年度内に建設工事を契約																																																				
児童精神科外来の開設	10月から診療開始																																																				
入院患者数(1日平均)	新規入院 41.1人																																																				
外来患者数(1日平均)	外来 1,080人																																																				
手術件数(年間)	手術室 5,000件 中央放射線・内視鏡 2,980件																																																				
高精度放射線治療患者数(年間)	495人																																																				
DPC病床での入院期間 I・II以内の退院患者比率(年間)	80.00%																																																				
病床利用率(全病床・年間)	85.8%(休床を除く病床数549床)																																																				
紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 79.0% 逆紹介率 90.5%																																																				
患者満足度(調査期間)	外来 90.0% 入院 97.0%																																																				
後発医薬品使用率(数量ベース)	92.00%																																																				
主な目標・計画	年度実績																																																				
立体駐車場を建設し供用開始 ・西立体駐車場 ・東立体駐車場 新中央診療棟の整備	8月25日供用開始 9月に建設着工 R2年度中の建設工事契約を見送り 10月から診療開始																																																				
児童精神科外来の開設																																																					
入院患者数(1日平均)	新規入院 36.0人																																																				
外来患者数(1日平均)	外来 1,016人																																																				
手術件数(年間)	手術室 4,185件 中央放射線・内視鏡 2,907件																																																				
高精度放射線治療患者数(年間)	446人																																																				
DPC病床での入院期間 I・II以内の退院患者比率(年間)	78.3%																																																				
病床利用率(全病床・年間)	72.9%																																																				
紹介率・逆紹介率(年間)	紹介率 74.3% 逆紹介率 98.6%																																																				
患者満足度(調査期間)	外来 85.0% 入院 95.3%																																																				
後発医薬品使用率(数量ベース)	89.89%																																																				
33	※ 積立金の使途		<ul style="list-style-type: none"> 前期中期目標期間における積立金については、今後発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。 	III	計画に則って資金留保できている。																																																

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況